

令和元年度宮城県在宅医療実態調査結果

調査の概要

【目的】

県内の在宅医療の実施状況などの実態を把握し、各地域における今後の施策推進に必要な基礎資料を得ることを目的として、下記の医療機関を対象に調査。

- 在宅療養支援診療所・在宅療養支援病院（機能強化型）
- 在宅療養支援診療所・在宅療養支援病院（通常型）
- 在宅時医学総合管理料及び施設入居時医学総合管理料届出医療機関（在支診・在支病以外）
- その他（平成28年度宮城県医療機能調査において、「在宅医療を実施している」と回答した医療機関）

【回収率等】

- 対象医療機関（送付先） 360 件
- 回答数 250 件
- 有効回答数 248 件 回収率（有効回答率）68.9%

調査結果のポイント

1. 病院・診療所の実態

- ・ **施設の届出なし**に在宅医療を実施している医療機関も少なくない。 …… (P2 問 I-1)
- ・ 24 時間 365 日体制を **自院のみで対応**している医療機関が多い。 …… (P3 問 I-1)
- ・ 外来をしながら、**指定日あるいは昼休みに訪問診療**を行っている。 …… (P7 問 I-6)
- ・ 看取りについても、24 時間自院で対応している場合が約 70%。 …… (P31 問 II-4)

2. 他医療機関との連携

- ・ 患者緊急時の受入施設との連携に比べ、**看取りにおける連携が進んでいない**。 …… (P11 問 I-8)
- ・ 患者緊急時の受入施設との連携体制が整っていない場合、患者が以前入院していた病院や救急対応する機会が多い。輪番体制のさらなる活用が求められる。 …… (P23 問 I-9)
- ・ **訪問歯科診療所との連携が進んでいない**。 …… (P15 問 I-8)

3. 患者数

- ・ 核家族化が進む都市部を中心に、**老人ホームやグループホームへの診療**が増加している。 …… (P25 問 II-1)
- ・ **小児の在宅患者**は全体の 0.7%とわずかだが、**H29 実態調査より 0.5% 増加**している。 …… (P26 問 II-2)

4. 訪問看護

- ・ **訪問看護を行っている診療所・病院は約 30%**
⇒ **外部訪問看護ステーションとの連携**が不可欠。 …… (P32 問 II-5)

5. 地域の医療環境

- ・ 訪問看護ステーションや介護サービス事業所よりも、**医療機関の不足を感じる施設が多い**。 …… (P38 問 III-1)

調査結果の概要

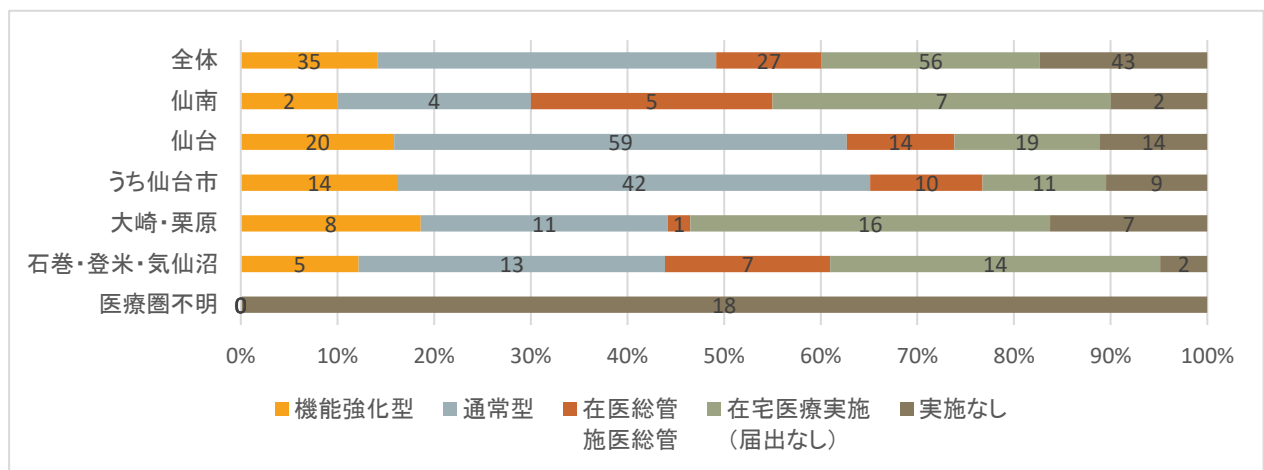
問 I 在宅医療の取組状況

問 I-1 在宅医療の実施体制 (n=248)

- ・在宅医療を実施している医療機関は 205 施設 (82.7%)
- ・在宅医療を実施する医療機関のうち 122 施設 (49.2%) が在支診／病

(単位：施設)

		在支診/病		在医総管 施医総管	在宅医療実施 (届出なし)	実施なし	未回答	計
		機能強化型	通常型					
二次 医療 圏	仙南	2	4	5	7	2	0	20
	仙台	20	59	14	19	14	0	126
	うち仙台市	14	42	10	11	9	0	86
	大崎・栗原	8	11	1	16	7	0	43
	石巻・登米・気仙沼	5	13	7	14	2	0	41
	医療圏不明	0	0	0	0	18	0	18
	計	35	87	27	56	43	0	248



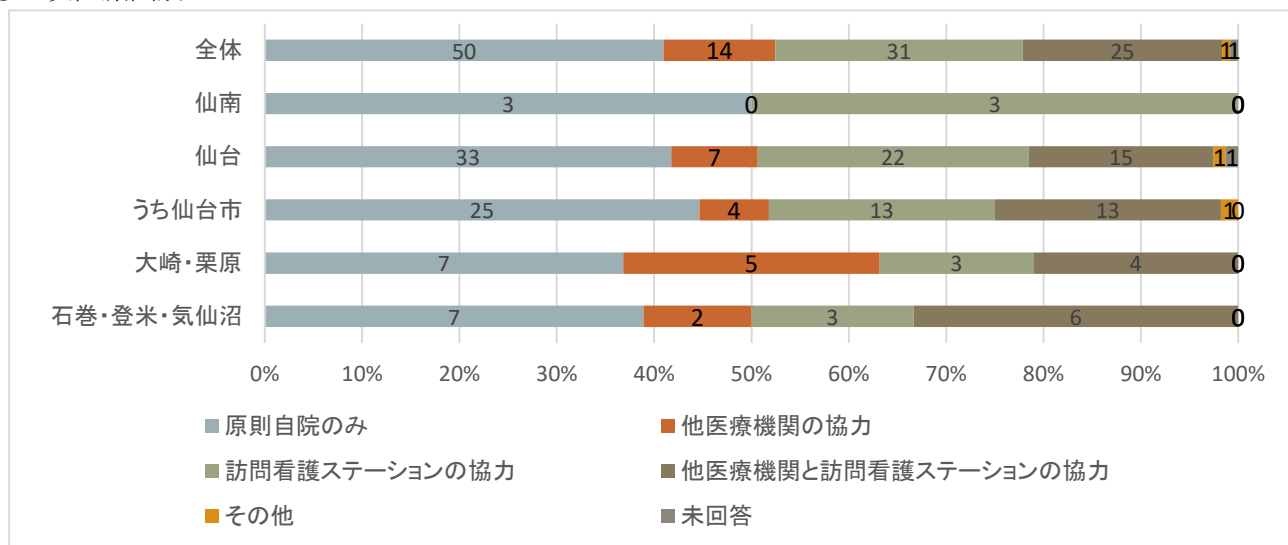
●24時間365日の実施形態 (n=122)

・「原則、自院のみで実施」が施設 (41%) で最も多い

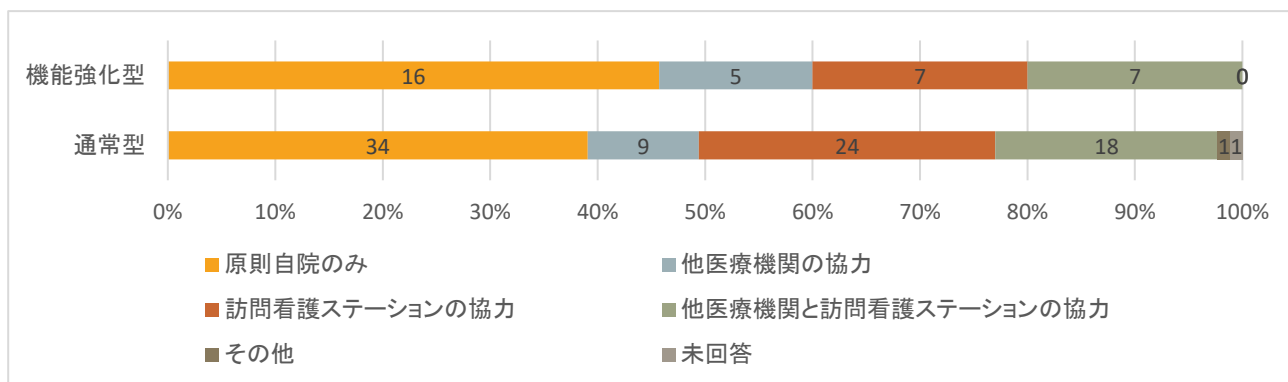
(単位：施設)

		届出区分	原則自院のみ	他医療機関の協力	訪問看護ステーションの協力	他医療機関と訪問看護ステーションの協力	その他	未回答	計
二次医療圏	仙南	機能強化型	1	0	1	0	0	0	2
		通常型	2	0	2	0	0	0	4
		小計	3	0	3	0	0	0	6
	仙台	機能強化型	11	2	4	3	0	0	20
		通常型	22	5	18	12	1	1	59
		小計	33	7	22	15	1	1	79
	うち仙台市	機能強化型	8	1	3	2	0	0	14
		通常型	17	3	10	11	1	0	42
		小計	25	4	13	13	1	0	56
	大崎・栗原	機能強化型	3	1	2	2	0	0	8
		通常型	4	4	1	2	0	0	11
		小計	7	5	3	4	0	0	19
	石巻・登米・気仙沼	機能強化型	1	2	0	2	0	0	5
		通常型	6	0	3	4	0	0	13
		小計	7	2	3	6	0	0	18
	計	機能強化型	16	5	7	7	0	0	35
		通常型	34	9	24	18	1	1	87
		総合計	50	14	31	25	1	1	122

●二次医療圏別



●実施体制別



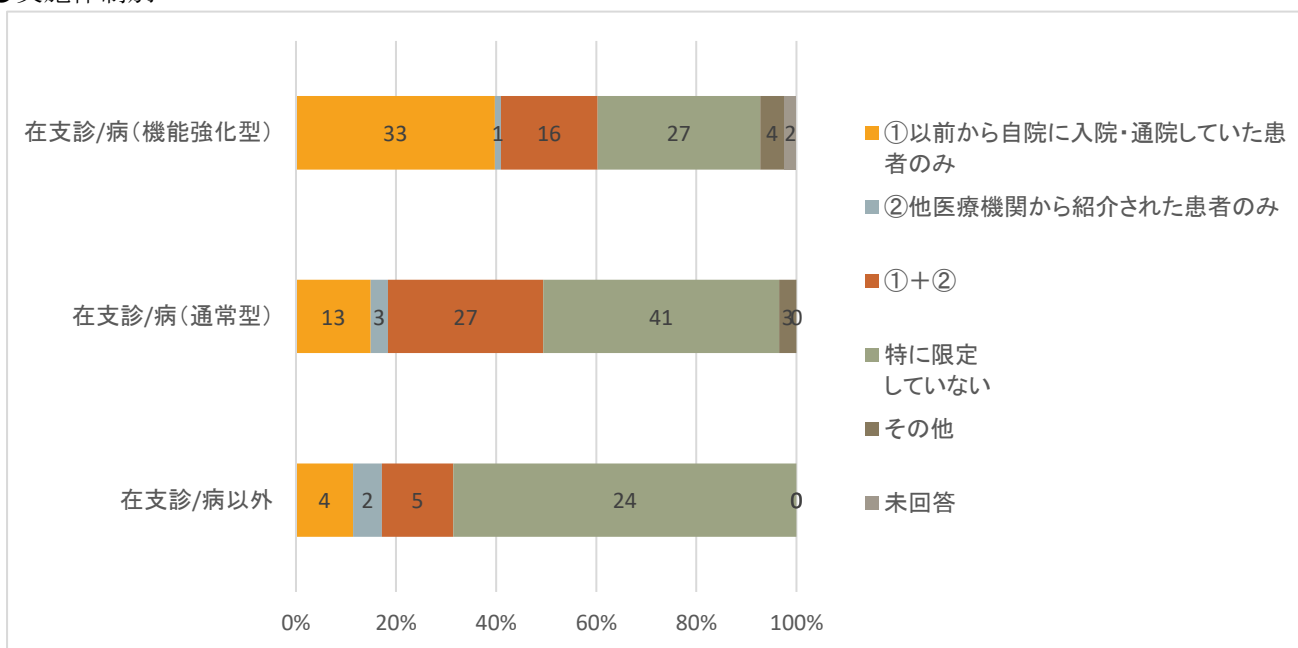
問 I-2 主な対象患者 (n=205)

- ・「特に対象は限定していない（自分で調べてきた患者やケアマネ等から依頼のあった患者を含む）」が 92 施設（44.9%）で最も多い
- ・「対象を限定している」は在支診/病が 54 施設（44.3%），在支診/病以外が 50 施設（60.2%）

（単位：施設）

		対象を限定している			特に限定していない	その他	未回答	計
		①以前から自院に入院・通院していた患者のみ	②他医療機関から紹介された患者のみ	①+②				
保健所・支所別	仙南	4	0	4	9	1	0	18
	塩釜	4	0	4	4	0	1	13
	岩沼	3	0	3	8	2	0	16
	黒川	3	0	1	2	0	0	6
	大崎	7	0	5	10	0	0	22
	栗原	4	0	5	5	0	0	14
	石巻	6	1	7	6	0	0	20
	登米	2	0	3	5	1	0	11
	気仙沼	2	0	2	4	0	0	8
	仙台市	15	5	14	39	3	1	77
	二次医療圏	仙南	4	0	4	9	1	0
仙台		25	5	22	53	5	2	112
うち仙台市		15	5	14	39	3	1	77
大崎・栗原		11	0	10	15	0	0	36
石巻・登米・気仙沼		10	1	12	15	1	0	39
実施体制	在支診/病（機能強化型）	4	2	5	24	0	0	35
	在支診/病（通常型）	13	3	27	41	3	0	87
	在支診/病以外	33	1	16	27	4	2	83
合計		50	6	48	92	7	2	205

●実施体制別



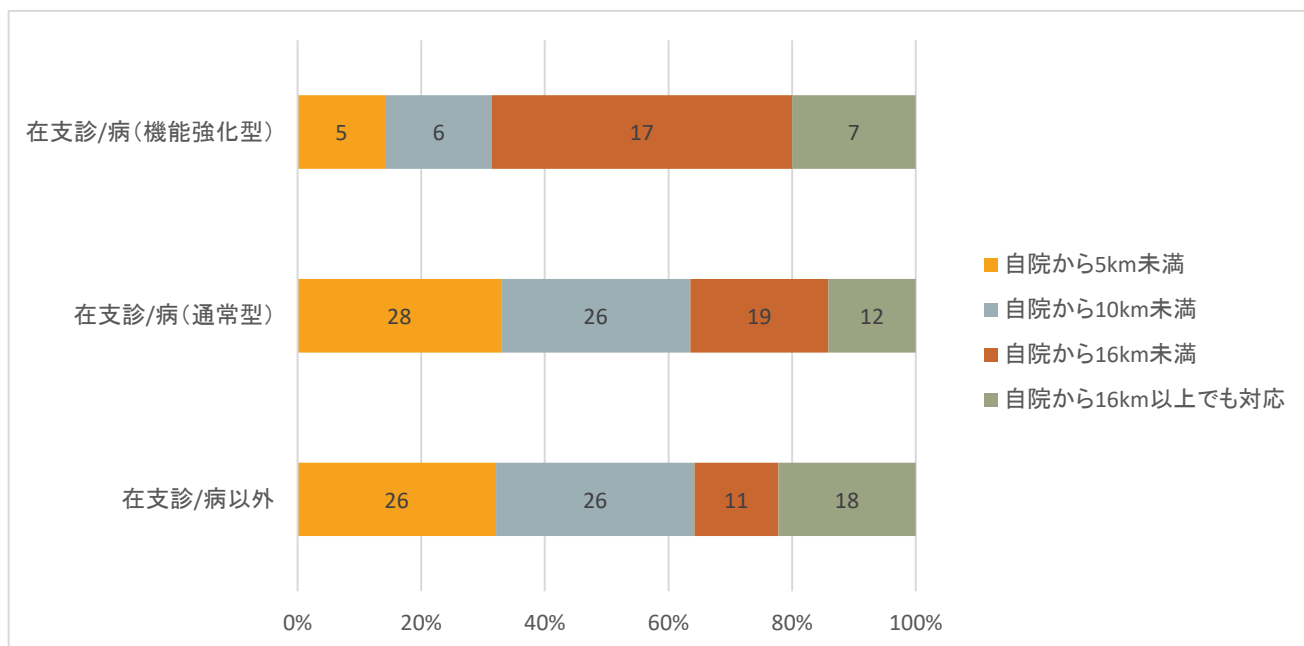
問 I-3 訪問対応している範囲の主な考え方 (n=205)

- ・自院から 5km 未満, 10km 未満と回答した施設が合わせて 117 施設 (57.1%)
- ・実施体制別に見ると, 自院から 16km 未満と回答した在支診/病は 17 施設 (48.6%) であり, 他の実施体制別と比べて割合が高い

(単位: 施設)

		自院から5km未満	自院から10km未満	自院から16km未満	自院から16km以上でも対応経験あり	未回答	計
二次医療圏	仙南	3	7	3	5	0	18
	仙台	40	28	26	14	4	112
	うち仙台市	33	15	18	9	2	77
	大崎・栗原	8	13	7	8	0	36
	石巻・登米・気仙沼	8	10	11	10	0	39
実施体制	在支診/病 (機能強化型)	5	6	17	7	0	35
	在支診/病 (通常型)	28	26	19	12	2	87
	在支診/病以外	26	26	11	18	2	83
合計		59	58	47	37	4	205

●実施体制別



問 I-4・問 I-5 これまでに訪問対応したことのある市区町村 **複数回答可** (n=205)

・回答のあった全医療機関が、所在地の二次医療圏で訪問対応する一方、他二次医療圏への訪問は少ない

●他医療圏へ訪問した施設数

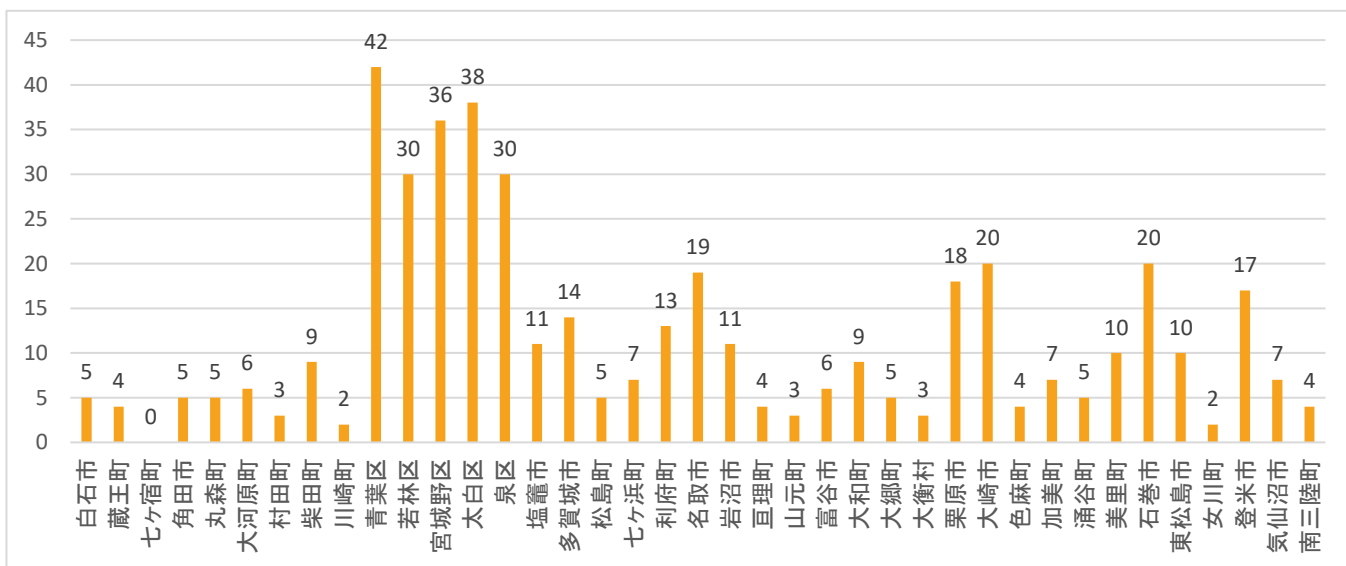
仙南医療圏	0 施設	仙台医療圏	6 施設
大崎・栗原医療圏	5 施設	石巻・登米・気仙沼医療圏	3 施設

●二次医療圏別

(単位：施設)

	医療機関数	訪問先					計
		仙南	仙台	うち仙台市	大崎・栗原	石巻・登米・気仙沼	
所在地							
仙南	18	18	0	0	0	0	18
仙台	110	3	110	87	2	1	203
うち仙台市	76	2	76	76	0	0	154
大崎・栗原	36	0	1	0	36	4	41
石巻・登米・気仙沼	39	0	1	0	2	39	42
合計	203	21	112	87	40	44	304

●訪問先別



問 I-6 訪問診療を行っている一週間あたりの日数 (n=205)

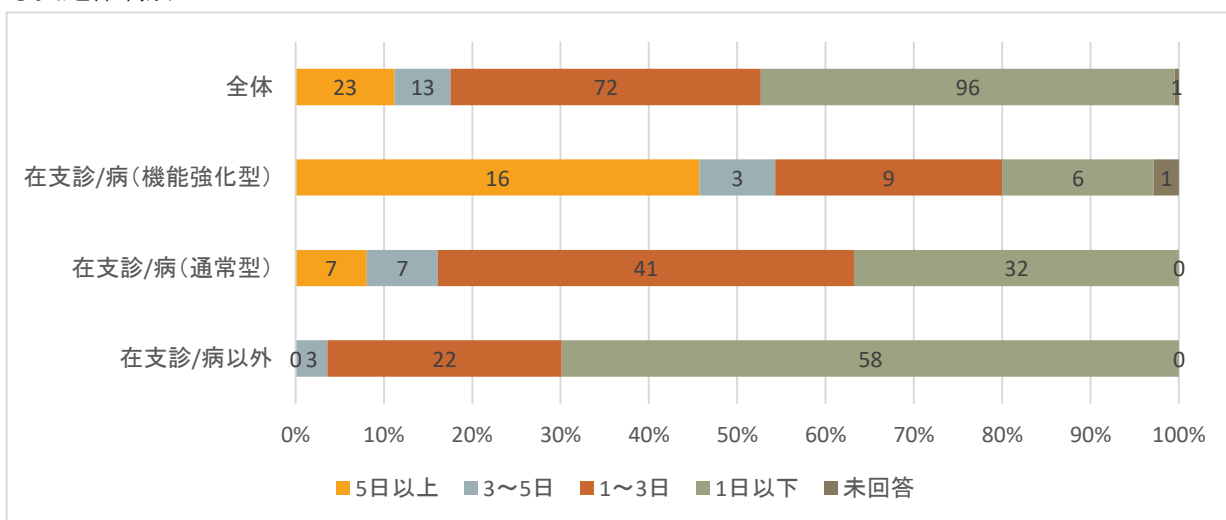
※半日は 0.5 日

- ・「1 日以下」が 96 施設 (46.8%) で最も多い
- ・在支診/病 (機能強化型) : 「5 日以上」が 16 施設 (45.7%)
- ・在支診/病 (通常型) : 「1~3 日以上」が 41 施設 (47.1%) , 「1 日以下」が 32 施設 (36.8%)
- ・在支診/病以外 : 「1 日以下」が 58 施設 (69.8%)

(単位 : 施設)

		5日以上 ほぼ毎日訪問	3~5日 訪問が主で 特定日に外来	1~3日 外来が主で 特定日に訪問	1日以下 訪問は特定日の 半日・昼休み等	未回答	計
保健所・ 支所別	仙南	2	0	3	13	0	18
	塩釜	1	2	6	4	0	13
	岩沼	1	2	3	10	0	16
	黒川	1	0	2	3	0	6
	大崎	3	0	8	10	1	22
	栗原	1	0	5	8	0	14
	石巻	2	1	9	8	0	20
	登米	1	1	5	4	0	11
	気仙沼	0	0	4	4	0	8
	仙台市	11	7	27	32	0	77
二次医療圏	仙南	2	0	3	13	0	18
	仙台	14	11	38	49	0	112
	うち仙台市	11	7	27	32	0	77
	大崎・栗原	4	0	13	18	1	36
	石巻・登米・気仙沼	3	2	18	16	0	39
実施体制	在支診/病 (機能強化型)	16	3	9	6	1	35
	在支診/病 (通常型)	7	7	41	32	0	87
	在支診/病以外	0	3	22	58	0	83
合計		23	13	72	96	1	205

●実施体制別



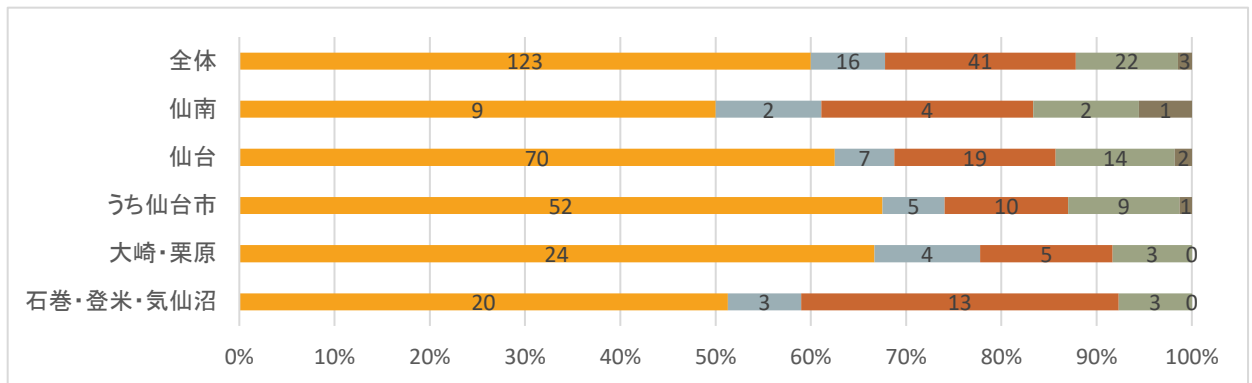
問 I-7 ファーストコールの連絡先 (n=205)

- ・『自院』が123施設(60%)で最も多い
- ・他と比べ、在支診/病以外の施設は訪問看護ステーションと回答した割合が高い
- ・『その他』と回答した医療機関のほとんどは、「院長の携帯番号」、「主治医の携帯番号」、「訪問看護ステーション又は自院医師の携帯」のいずれかを挙げた

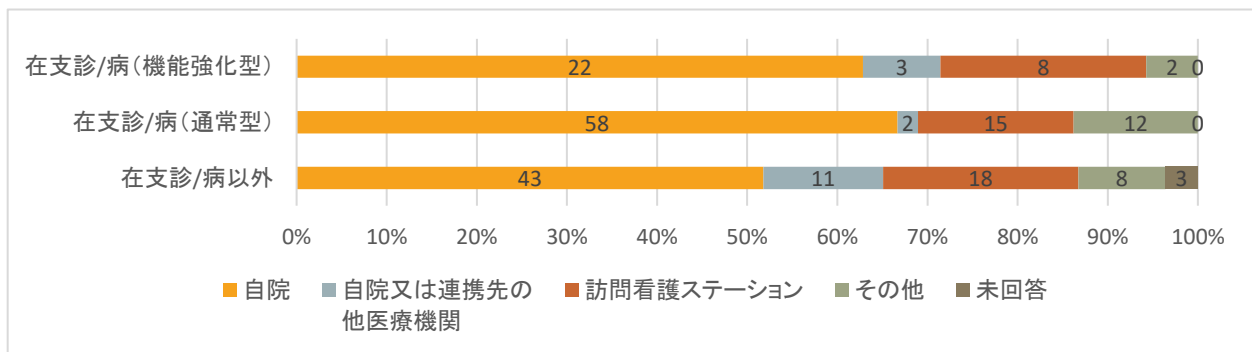
(単位：施設)

		自院	自院又は連携先の 他医療機関	訪問看護ス テーション	その他	未回答	計
保健所・支所別	仙南	9	2	4	2	1	18
	塩釜	4	2	5	1	1	13
	岩沼	10	0	3	3	0	16
	黒川	4	0	1	1	0	6
	大崎	15	2	4	1	0	22
	栗原	9	2	1	2	0	14
	石巻	12	1	5	2	0	20
	登米	3	1	6	1	0	11
	気仙沼	5	1	2	0	0	8
	仙台市	52	5	10	9	1	77
二次医療圏別	仙南	9	2	4	2	1	18
	仙台	70	7	19	14	2	112
	うち仙台市	52	5	10	9	1	77
	大崎・栗原	24	4	5	3	0	36
	石巻・登米・気仙沼	20	3	13	3	0	39
実施体制別	在支診/病(機能強化型)	22	3	8	2	0	35
	在支診/病(通常型)	58	2	15	12	0	87
	在支診/病以外	43	11	18	8	3	83
合計		123	16	41	22	3	205

●二次医療圏別



●実施体制別



問 I-8 関係機関等との連携状況 (n=205)

1 緊急時の入院先医療機関

①患者紹介

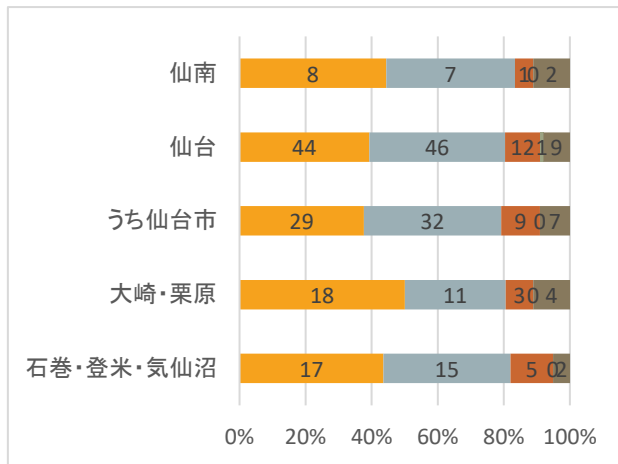
・「十分連携している」「ある程度連携している」が 166 施設 (81%)

① 患者紹介

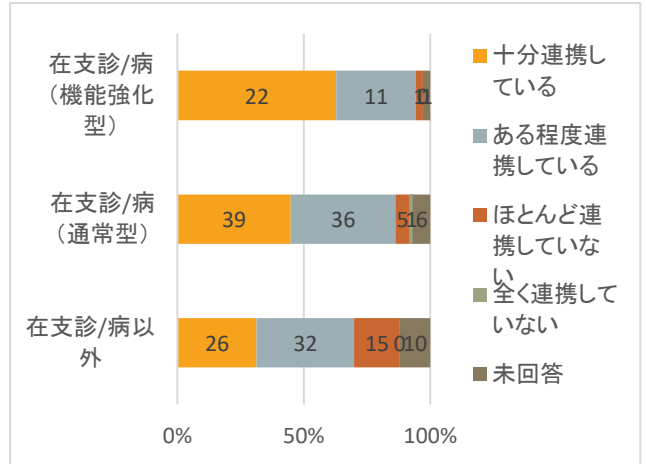
(単位：施設)

		十分連携している	ある程度連携している	ほとんど連携していない	全く連携していない	未回答	計
二次医療圏	仙南	8	7	1	0	2	18
	仙台	44	46	12	1	9	112
	うち仙台市	29	32	9	0	7	77
	大崎・栗原	18	11	3	0	4	36
	石巻・登米・気仙沼	17	15	5	0	2	39
実施体制	在支診/病 (機能強化型)	22	11	1	0	1	35
	在支診/病 (通常型)	39	36	5	1	6	87
	在支診/病以外	26	32	15	0	10	83
合計		87	79	21	1	17	205

●二次医療圏別



●実施体制別



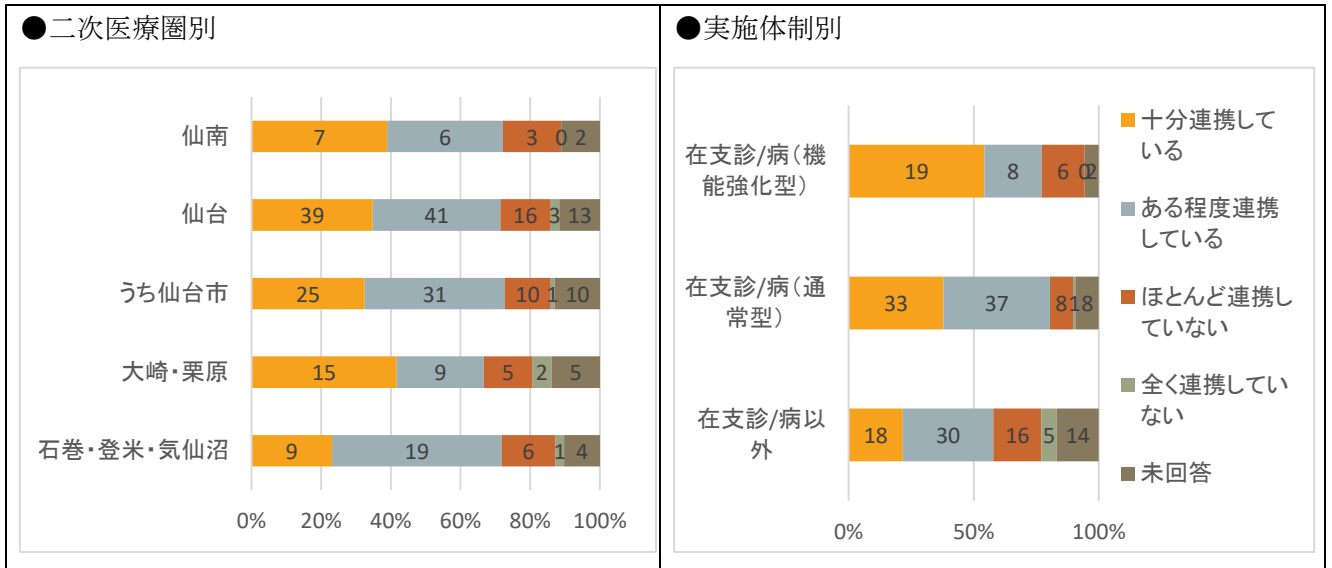
②患者情報の共有

・「十分連携している」「ある程度連携している」が 145 施設 (70.7%)

②患者情報の共有

(単位：施設)

		十分連携している	ある程度連携している	ほとんど連携していない	全く連携していない	未回答	計
二次医療圏	仙南	7	6	3	0	2	18
	仙台	39	41	16	3	13	112
	うち仙台市	25	31	10	1	10	77
	大崎・栗原	15	9	5	2	5	36
	石巻・登米・気仙沼	9	19	6	1	4	39
実施体制	在支診/病 (機能強化型)	19	8	6	0	2	35
	在支診/病 (通常型)	33	37	8	1	8	87
	在支診/病以外	18	30	16	5	14	83
合計		70	75	30	6	24	205



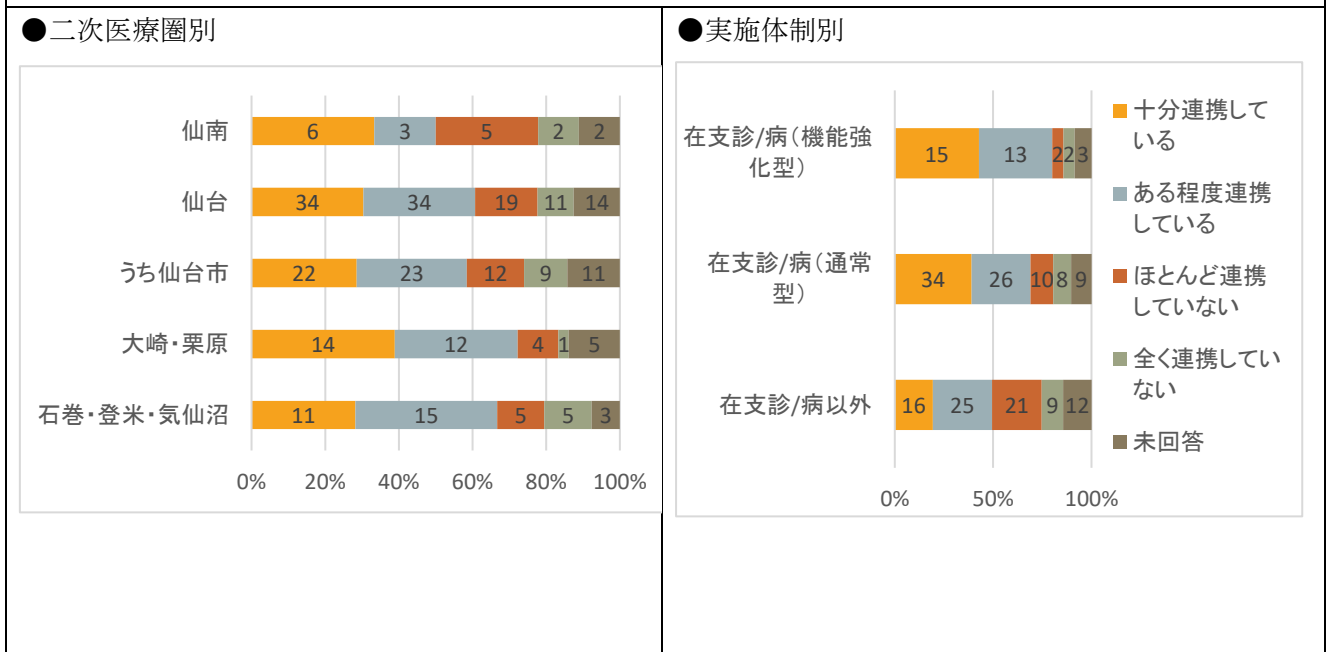
③24時間体制の確保（急変時の対応）

- ・「十分連携している」「ある程度連携している」が129施設（62.9%）
- ・①，②に比べると「ほとんど連携していない」「全く連携していない」の割合が高い

③24時間体制の確保（急変時への対応）

（単位：施設）

		十分連携している	ある程度連携している	ほとんど連携していない	全く連携していない	未回答	計
二次医療圏	仙南	6	3	5	2	2	18
	仙台	34	34	19	11	14	112
	うち仙台市	22	23	12	9	11	77
	大崎・栗原	14	12	4	1	5	36
	石巻・登米・気仙沼	11	15	5	5	3	39
実施体制	在支診/病（機能強化型）	15	13	2	2	3	35
	在支診/病（通常型）	34	26	10	8	9	87
	在支診/病以外	16	25	21	9	12	83
合計		65	64	33	19	24	205



2 自院で対応できない場合の往診、看取り等を行う医療機関

①患者紹介

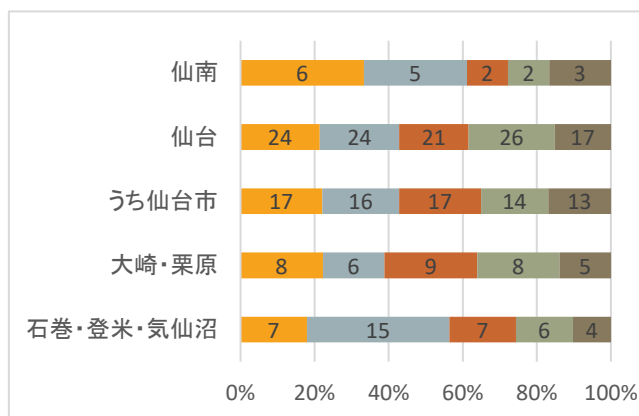
・「十分連携している」「ある程度連携している」が95施設（46.3%）

①患者紹介

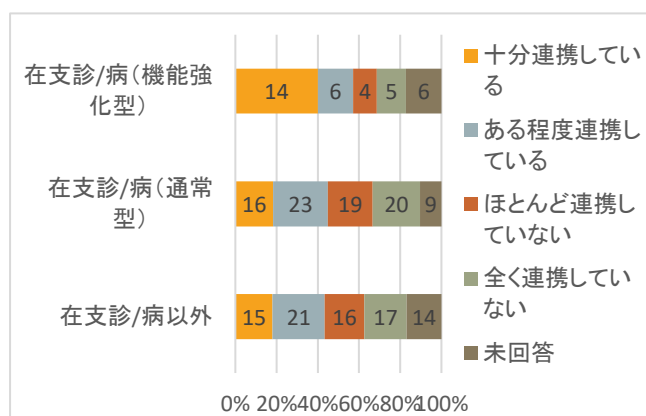
（単位：施設）

		十分連携している	ある程度連携している	ほとんど連携していない	全く連携していない	未回答	計
二次医療圏	仙南	6	5	2	2	3	18
	仙台	24	24	21	26	17	112
	うち仙台市	17	16	17	14	13	77
	大崎・栗原	8	6	9	8	5	36
	石巻・登米・気仙沼	7	15	7	6	4	39
実施体制	在支診/病（機能強化型）	14	6	4	5	6	35
	在支診/病（通常型）	16	23	19	20	9	87
	在支診/病以外	15	21	16	17	14	83
合計		45	50	39	42	29	205

●二次医療圏別



●実施体制別



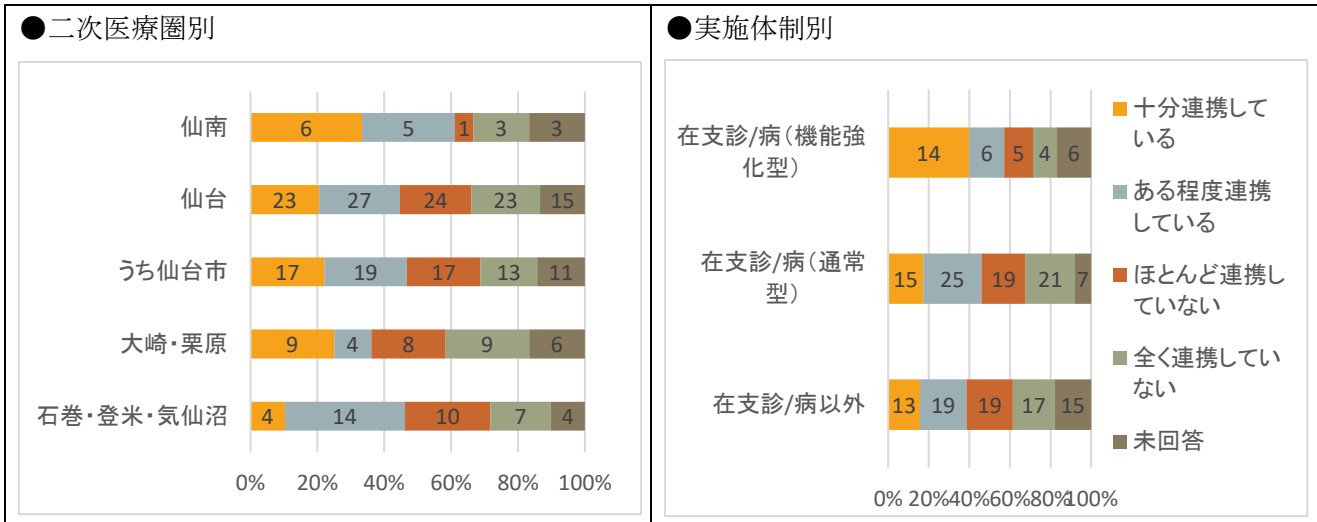
②患者情報の共有

・「十分連携している」「ある程度連携している」が92施設（44.9%）

②患者情報の共有

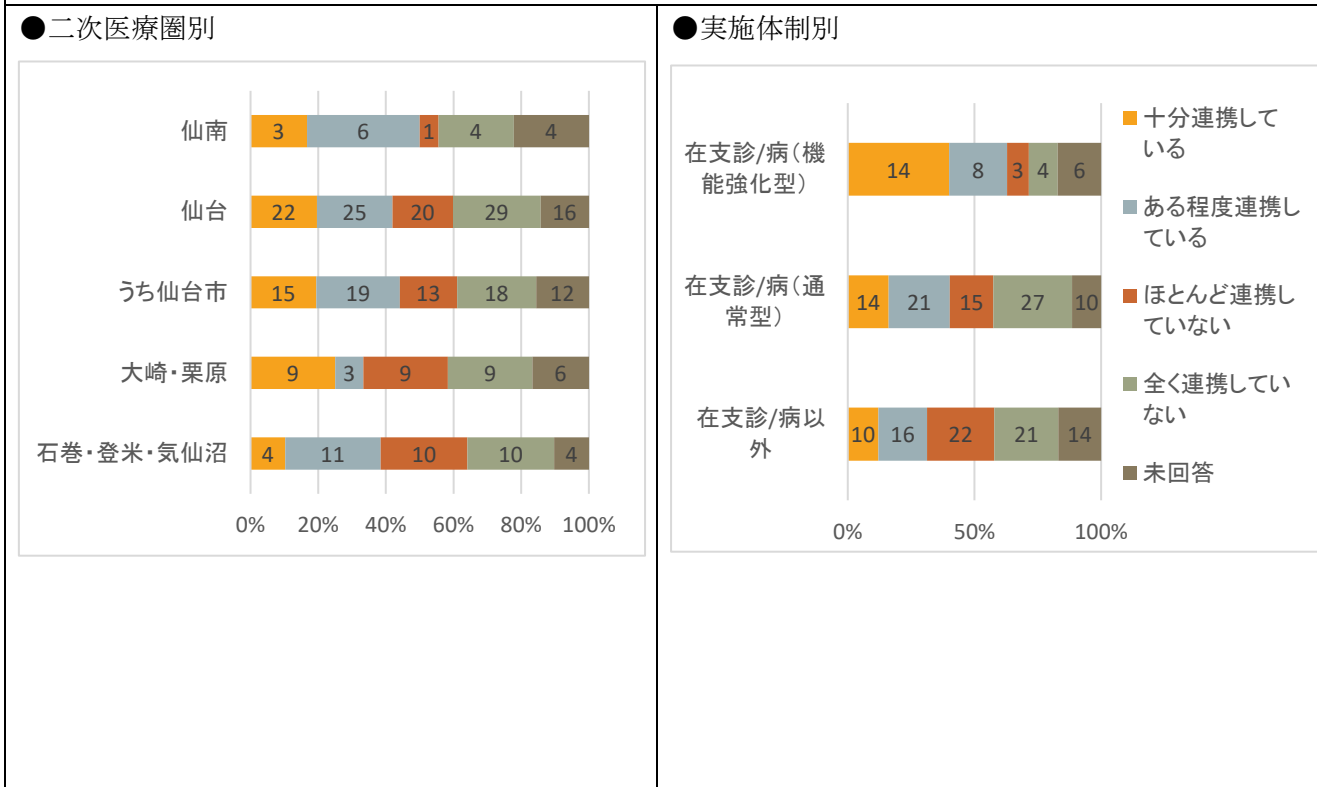
（単位：施設）

		十分連携している	ある程度連携している	ほとんど連携していない	全く連携していない	未回答	計
二次医療圏	仙南	6	5	1	3	3	18
	仙台	23	27	24	23	15	112
	うち仙台市	17	19	17	13	11	77
	大崎・栗原	9	4	8	9	6	36
	石巻・登米・気仙沼	4	14	10	7	4	39
実施体制	在支診/病（機能強化型）	14	6	5	4	6	35
	在支診/病（通常型）	15	25	19	21	7	87
	在支診/病以外	13	19	19	17	15	83
合計		42	50	43	42	28	205



③24時間体制の確保（急変時への対応）
 ・「十分連携している」「ある程度連携している」が83施設（40.5%）
 ③24時間体制の確保（急変時への対応）（単位：施設）

		十分連携している	ある程度連携している	ほとんど連携していない	全く連携していない	未回答	計
二次医療圏	仙南	3	6	1	4	4	18
	仙台	22	25	20	29	16	112
	うち仙台市	15	19	13	18	12	77
	大崎・栗原	9	3	9	9	6	36
	石巻・登米・気仙沼	4	11	10	10	4	39
実施体制	在支診/病（機能強化型）	14	8	3	4	6	35
	在支診/病（通常型）	14	21	15	27	10	87
	在支診/病以外	10	16	22	21	14	83
合計		38	45	40	52	30	205



3 訪問看護ステーション

①患者紹介

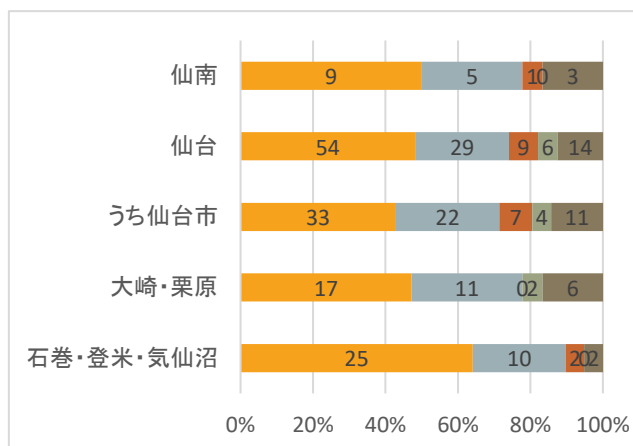
・「十分連携している」「ある程度連携している」が 160 施設（78%）

①患者紹介

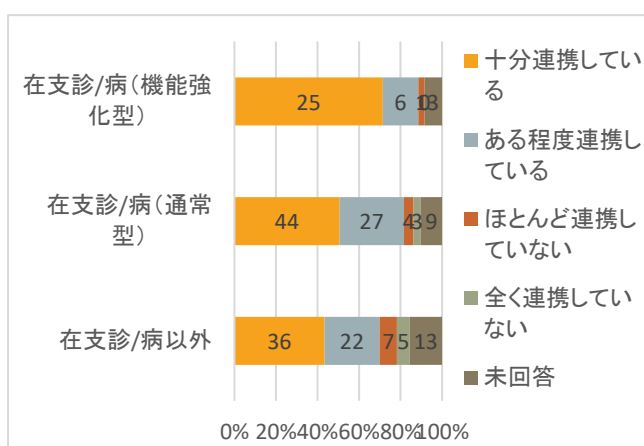
（単位：施設）

		十分連携している	ある程度連携している	ほとんど連携していない	全く連携していない	未回答	計
二次医療圏	仙南	9	5	1	0	3	18
	仙台	54	29	9	6	14	112
	うち仙台市	33	22	7	4	11	77
	大崎・栗原	17	11	0	2	6	36
	石巻・登米・気仙沼	25	10	2	0	2	39
実施体制	在支診/病（機能強化型）	25	6	1	0	3	35
	在支診/病（通常型）	44	27	4	3	9	87
	在支診/病以外	36	22	7	5	13	83
	合計	105	55	12	8	25	205

●二次医療圏別



●実施体制別



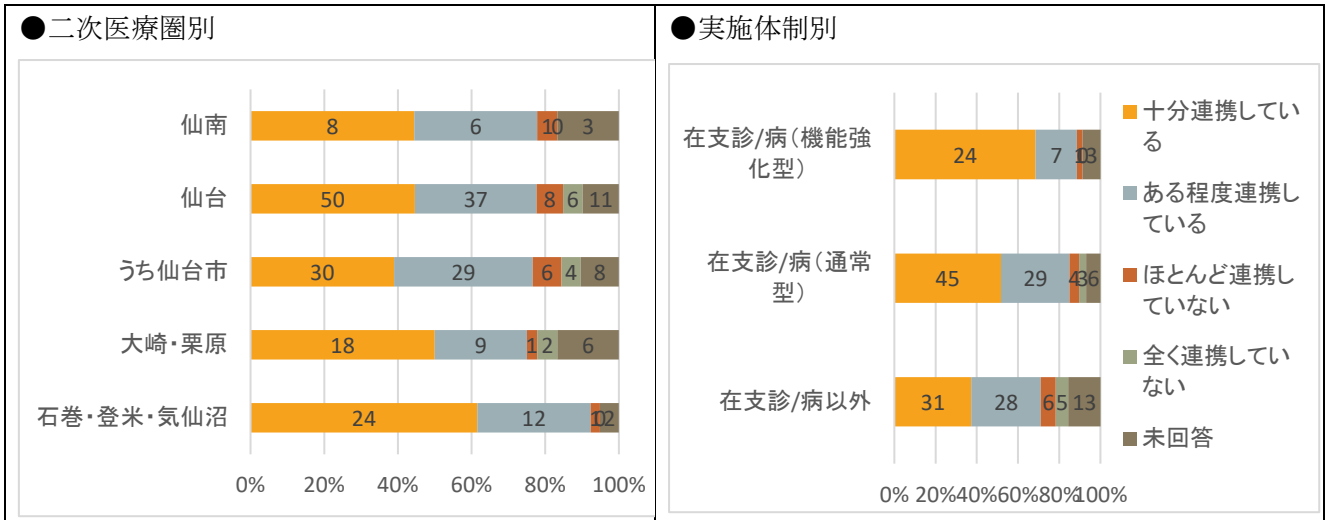
②患者情報の共有

・「十分連携している」「ある程度連携している」が 164 施設（80%）

②患者情報の共有

（単位：施設）

		十分連携している	ある程度連携している	ほとんど連携していない	全く連携していない	未回答	計
二次医療圏	仙南	8	6	1	0	3	18
	仙台	50	37	8	6	11	112
	うち仙台市	30	29	6	4	8	77
	大崎・栗原	18	9	1	2	6	36
	石巻・登米・気仙沼	24	12	1	0	2	39
実施体制	在支診/病（機能強化型）	24	7	1	0	3	35
	在支診/病（通常型）	45	29	4	3	6	87
	在支診/病以外	31	28	6	5	13	83
	合計	100	64	11	8	22	205



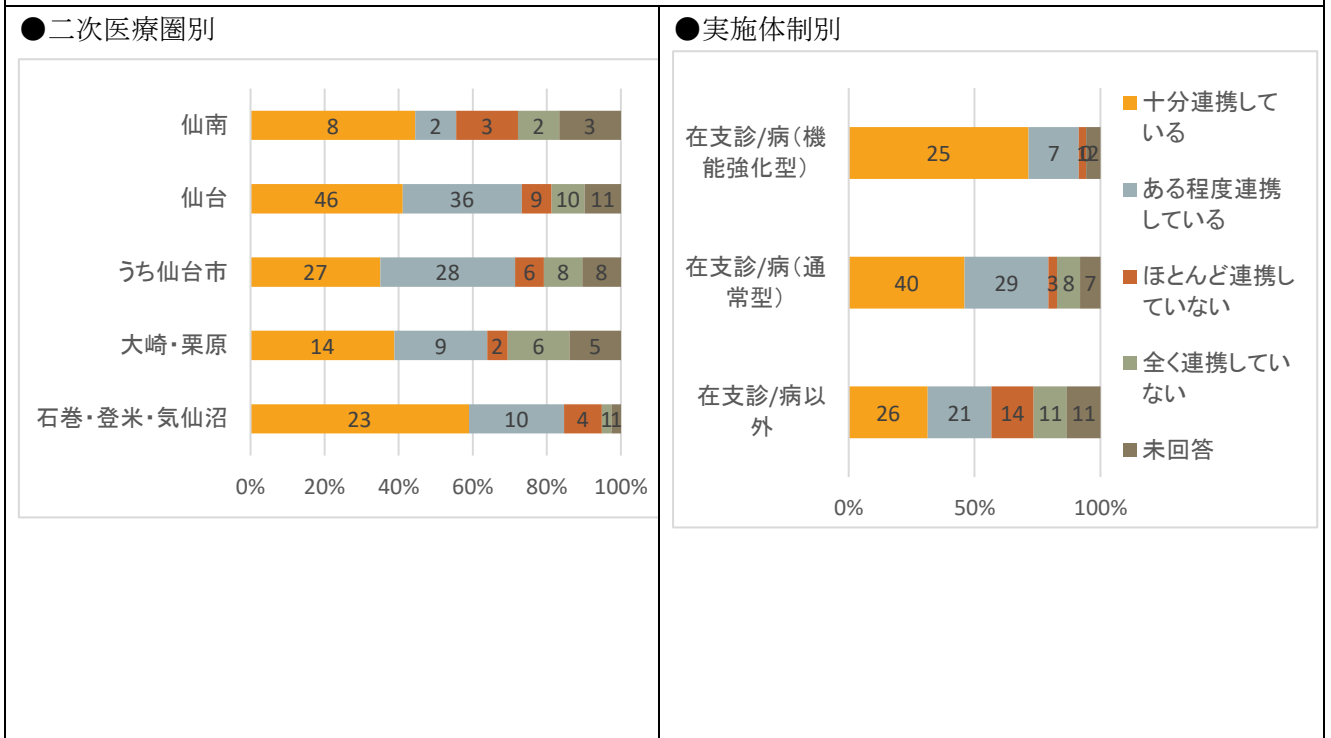
③24時間体制の確保（急変時への対応）

・「十分連携している」「ある程度連携している」が148施設（72.2%）

③24時間体制の確保（急変時への対応）

（単位：施設）

		十分連携している	ある程度連携している	ほとんど連携していない	全く連携していない	未回答	計
二次医療圏	仙南	8	2	3	2	3	18
	仙台	46	36	9	10	11	112
	うち仙台市	27	28	6	8	8	77
	大崎・栗原	14	9	2	6	5	36
	石巻・登米・気仙沼	23	10	4	1	1	39
実施体制	在支診/病（機能強化型）	25	7	1	0	2	35
	在支診/病（通常型）	40	29	3	8	7	87
	在支診/病以外	26	21	14	11	11	83
合計		91	57	18	19	20	205



4 訪問歯科診療を実施する歯科診療所

①患者紹介

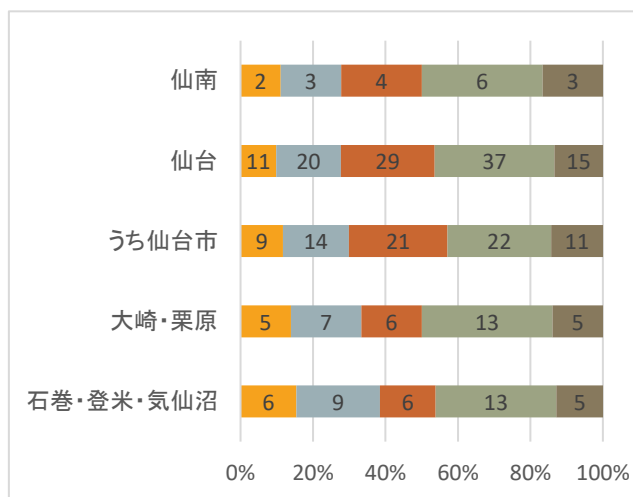
- ・「ほとんど連携していない」「全く連携していない」が114施設（55.6%）
- ・在支診/病（機能強化型）は、他と比べて「十分連携している」「ある程度連携している」と回答した施設の割合が高い

①患者紹介

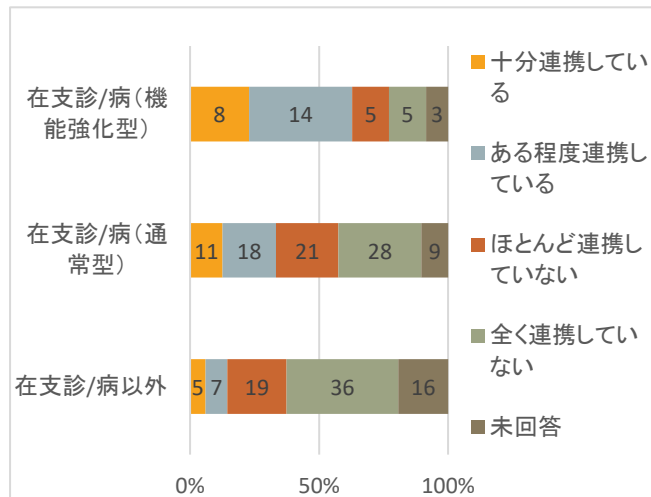
（単位：施設）

		十分連携している	ある程度連携している	ほとんど連携していない	全く連携していない	未回答	計
二次医療圏	仙南	2	3	4	6	3	18
	仙台	11	20	29	37	15	112
	うち仙台市	9	14	21	22	11	77
	大崎・栗原	5	7	6	13	5	36
	石巻・登米・気仙沼	6	9	6	13	5	39
実施体制	在支診/病（機能強化型）	8	14	5	5	3	35
	在支診/病（通常型）	11	18	21	28	9	87
	在支診/病以外	5	7	19	36	16	83
合計		24	39	45	69	28	205

●二次医療圏別



●実施体制別



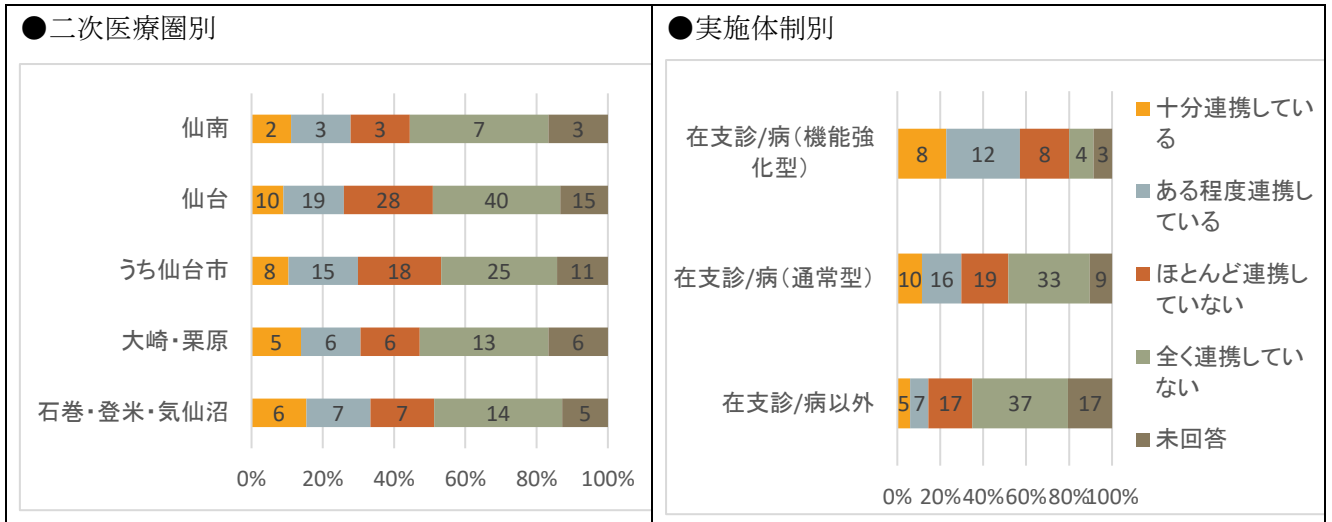
②患者情報の共有

- ・「ほとんど連携していない」「全く連携していない」が118施設（57.6%）

②患者情報の共有

（単位：施設）

		十分連携している	ある程度連携している	ほとんど連携していない	全く連携していない	未回答	計
二次医療圏	仙南	2	3	3	7	3	18
	仙台	10	19	28	40	15	112
	うち仙台市	8	15	18	25	11	77
	大崎・栗原	5	6	6	13	6	36
	石巻・登米・気仙沼	6	7	7	14	5	39
実施体制	在支診/病（機能強化型）	8	12	8	4	3	35
	在支診/病（通常型）	10	16	19	33	9	87
	在支診/病以外	5	7	17	37	17	83
合計		23	35	44	74	29	205



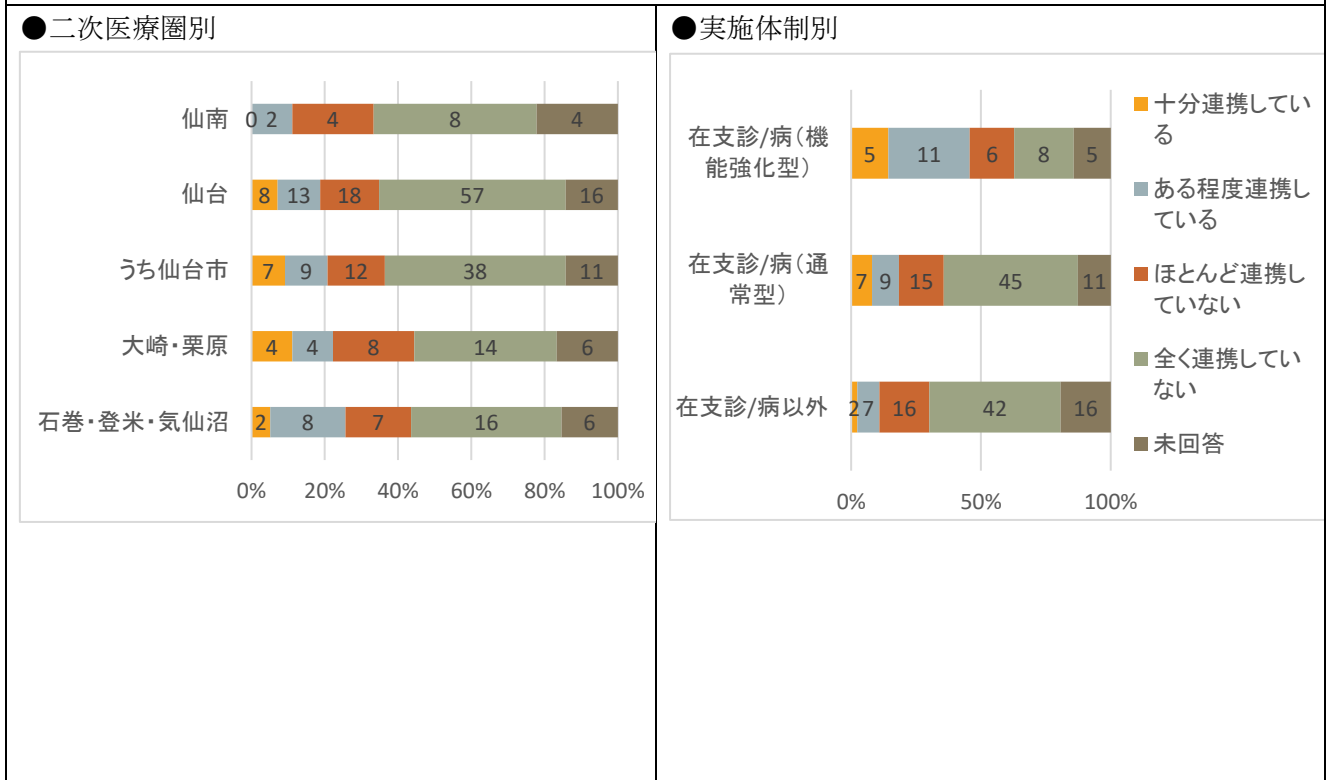
③24時間体制の確保（急変時への対応）

・「ほとんど連携していない」「全く連携していない」が132施設（64.4%）

③24時間体制の確保（急変時への対応）

（単位：施設）

		十分連携している	ある程度連携している	ほとんど連携していない	全く連携していない	未回答	計
二次医療圏	仙南	0	2	4	8	4	18
	仙台	8	13	18	57	16	112
	うち仙台市	7	9	12	38	11	77
	大崎・栗原	4	4	8	14	6	36
	石巻・登米・気仙沼	2	8	7	16	6	39
実施体制	在支診/病（機能強化型）	5	11	6	8	5	35
	在支診/病（通常型）	7	9	15	45	11	87
	在支診/病以外	2	7	16	42	16	83
合計		14	27	37	95	32	205



5 訪問薬剤指導を実施する薬局

①患者紹介

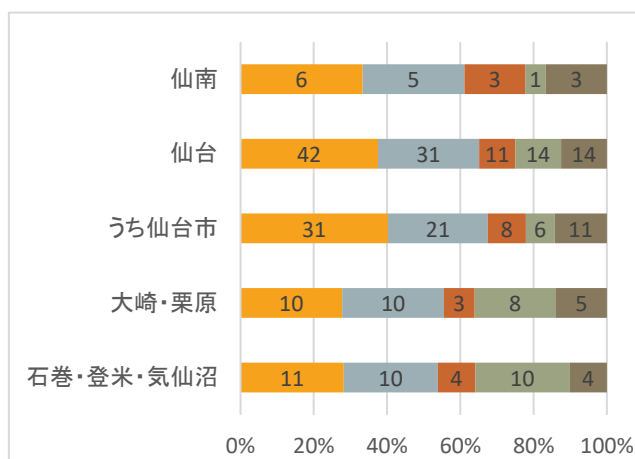
・「十分連携している」「ある程度連携している」が 125 施設（61%）

①患者紹介

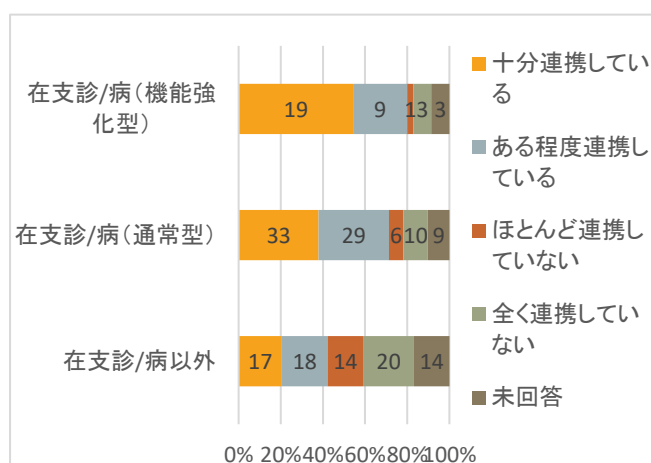
（単位：施設）

		十分連携している	ある程度連携している	ほとんど連携していない	全く連携していない	未回答	計
二次医療圏	仙南	6	5	3	1	3	18
	仙台	42	31	11	14	14	112
	うち仙台市	31	21	8	6	11	77
	大崎・栗原	10	10	3	8	5	36
	石巻・登米・気仙沼	11	10	4	10	4	39
実施体制	在支診/病（機能強化型）	19	9	1	3	3	35
	在支診/病（通常型）	33	29	6	10	9	87
	在支診/病以外	17	18	14	20	14	83
合計		69	56	21	33	26	205

●二次医療圏別



●実施体制別



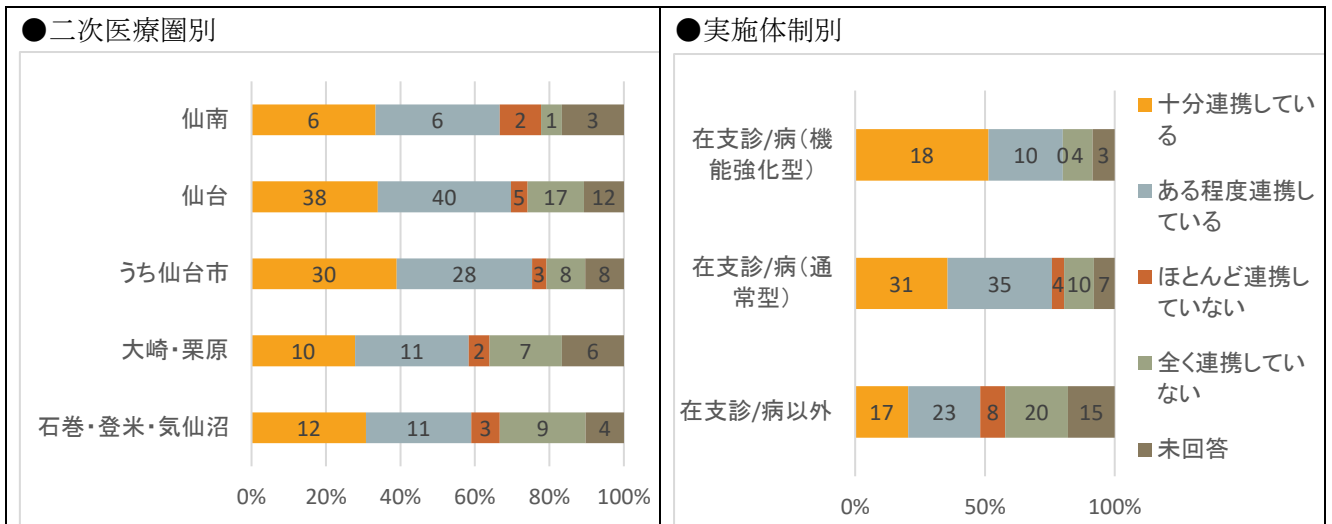
②患者情報の共有

・「十分連携している」「ある程度連携している」が 134 施設（65.4%）

②患者情報の共有

（単位：施設）

		十分連携している	ある程度連携している	ほとんど連携していない	全く連携していない	未回答	計
二次医療圏	仙南	6	6	2	1	3	18
	仙台	38	40	5	17	12	112
	うち仙台市	30	28	3	8	8	77
	大崎・栗原	10	11	2	7	6	36
	石巻・登米・気仙沼	12	11	3	9	4	39
実施体制	在支診/病（機能強化型）	18	10	0	4	3	35
	在支診/病（通常型）	31	35	4	10	7	87
	在支診/病以外	17	23	8	20	15	83
合計		66	68	12	34	25	205



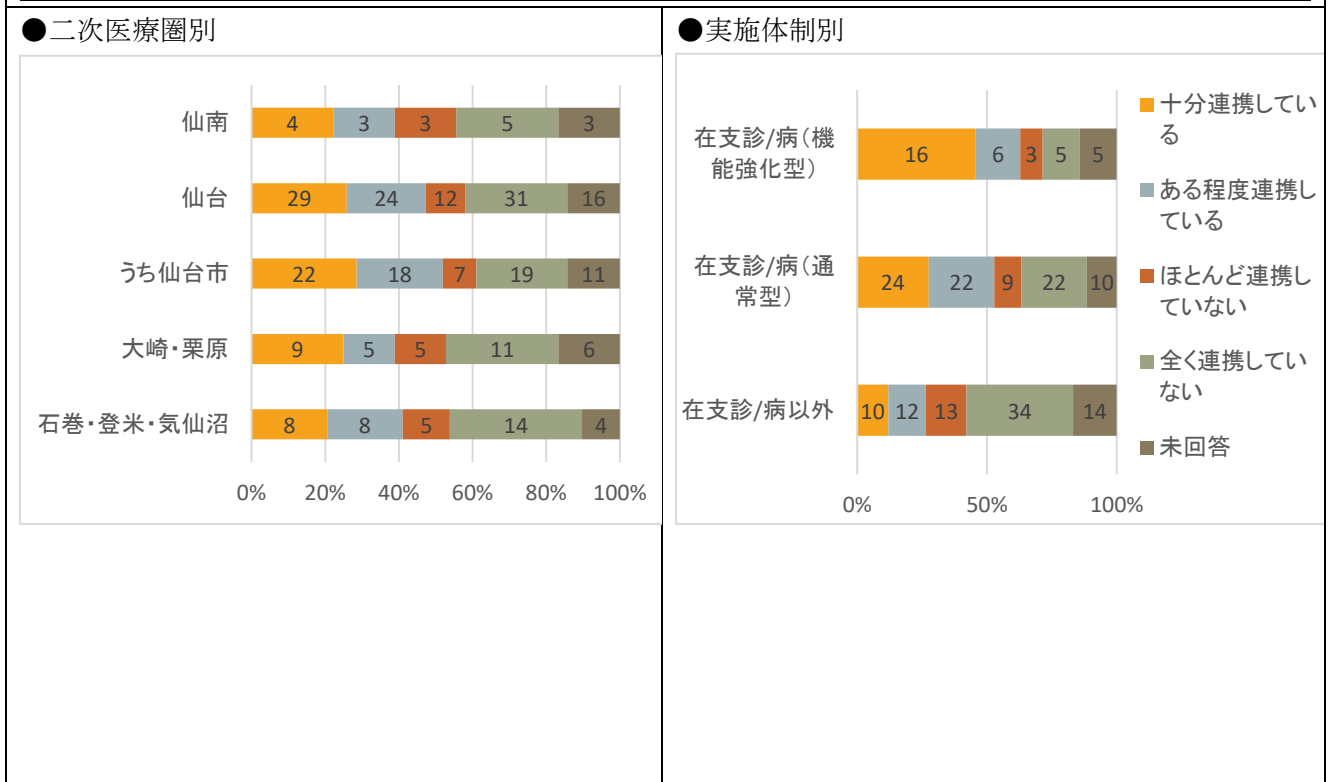
③24時間体制の確保（急変時への対応）

・「十分連携している」「ある程度連携している」が90施設（43.9%）

③24時間体制の確保（急変時への対応）

（単位：施設）

		十分連携している	ある程度連携している	ほとんど連携していない	全く連携していない	未回答	計
二次医療圏	仙南	4	3	3	5	3	18
	仙台	29	24	12	31	16	112
	うち仙台市	22	18	7	19	11	77
	大崎・栗原	9	5	5	11	6	36
	石巻・登米・気仙沼	8	8	5	14	4	39
実施体制	在支診/病（機能強化型）	16	6	3	5	5	35
	在支診/病（通常型）	24	22	9	22	10	87
	在支診/病以外	10	12	13	34	14	83
合計		50	40	25	61	29	205



6 訪問リハビリ実施施設

①患者紹介

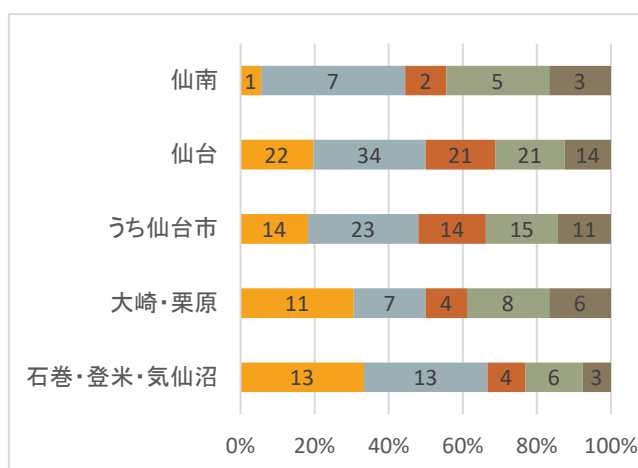
・「十分連携している」「ある程度連携している」が 108 施設 (52.7%)

①患者紹介

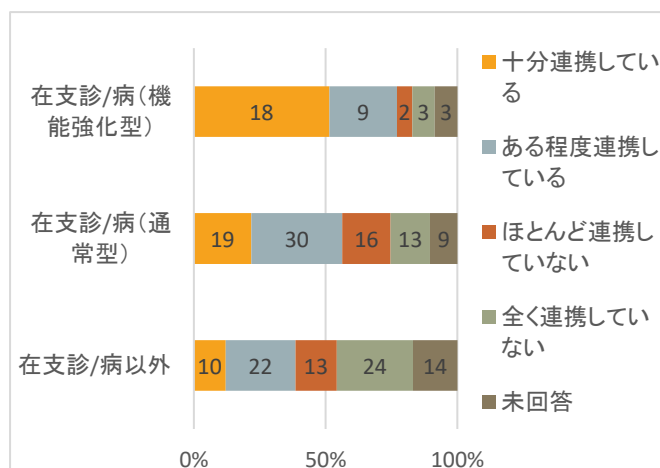
(単位：施設)

		十分連携 している	ある程度 連携している	ほとんど連携 していない	全く連携 していない	未回答	計
二次医療圏	仙南	1	7	2	5	3	18
	仙台	22	34	21	21	14	112
	うち仙台市	14	23	14	15	11	77
	大崎・栗原	11	7	4	8	6	36
	石巻・登米・気仙沼	13	13	4	6	3	39
実施体制	在支診/病（機能強化型）	18	9	2	3	3	35
	在支診/病（通常型）	19	30	16	13	9	87
	在支診/病以外	10	22	13	24	14	83
	合計	47	61	31	40	26	205

●二次医療圏別



●実施体制別



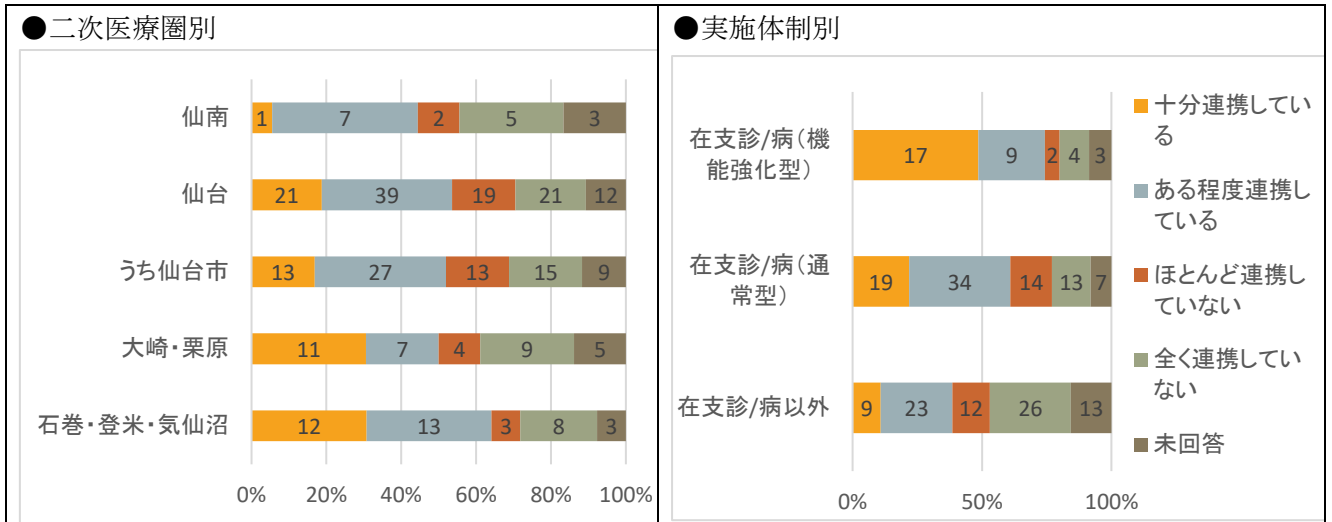
②患者情報の共有

・「十分連携している」「ある程度連携している」が 111 施設 (54.1%)

②患者情報の共有

(単位：施設)

		十分連携 している	ある程度 連携している	ほとんど連携 していない	全く連携 していない	未回答	計
二次医療圏	仙南	1	7	2	5	3	18
	仙台	21	39	19	21	12	112
	うち仙台市	13	27	13	15	9	77
	大崎・栗原	11	7	4	9	5	36
	石巻・登米・気仙沼	12	13	3	8	3	39
実施体制	在支診/病（機能強化型）	17	9	2	4	3	35
	在支診/病（通常型）	19	34	14	13	7	87
	在支診/病以外	9	23	12	26	13	83
	合計	45	66	28	43	23	205



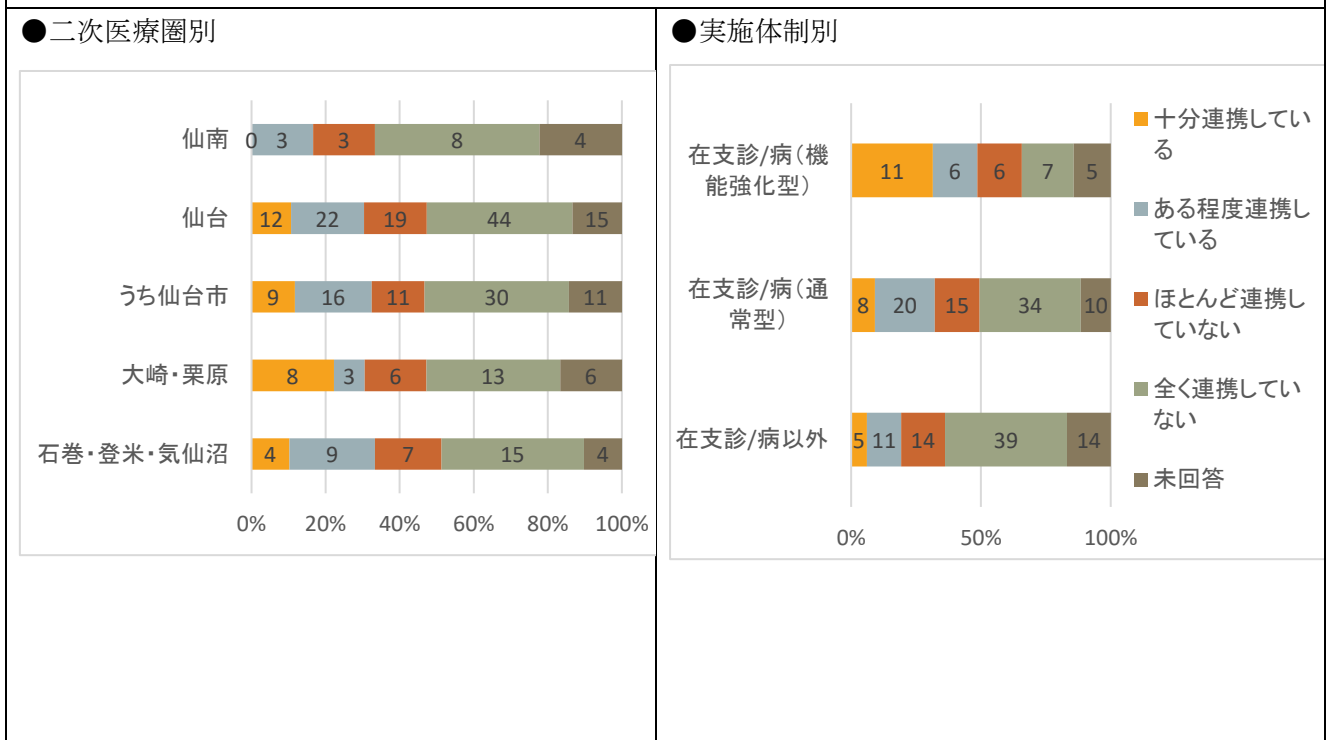
③24時間体制の確保（急変時への対応）

・「ほとんど連携していない」「全く連携していない」が115施設（56.1%）

③24時間体制の確保（急変時への対応）

（単位：施設）

		十分連携している	ある程度連携している	ほとんど連携していない	全く連携していない	未回答	計
二次医療圏	仙南	0	3	3	8	4	18
	仙台	12	22	19	44	15	112
	うち仙台市	9	16	11	30	11	77
	大崎・栗原	8	3	6	13	6	36
	石巻・登米・気仙沼	4	9	7	15	4	39
実施体制	在支診/病（機能強化型）	11	6	6	7	5	35
	在支診/病（通常型）	8	20	15	34	10	87
	在支診/病以外	5	11	14	39	14	83
合計		24	37	35	80	29	205



7 介護サービス事業所

①患者紹介

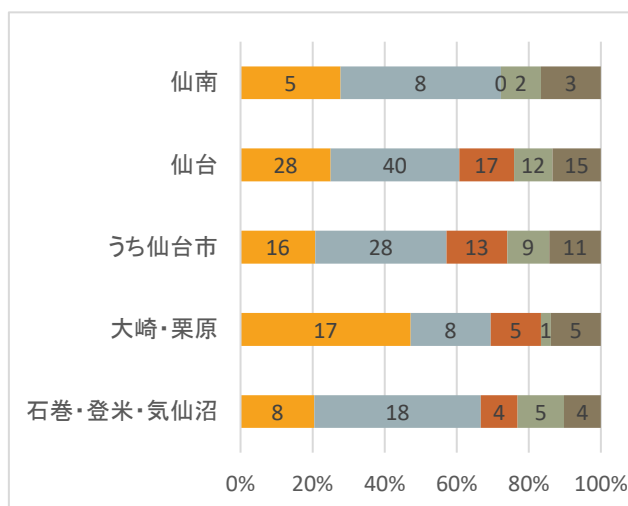
・「十分連携している」「ある程度連携している」が132施設（64.4%）

①患者紹介

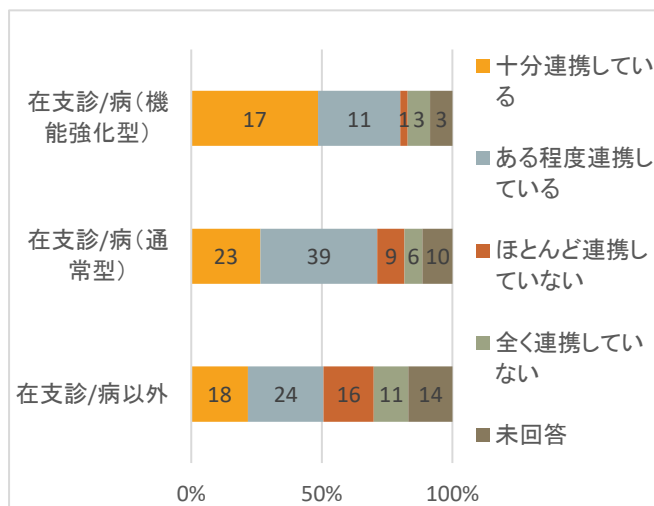
（単位：施設）

		十分連携している	ある程度連携している	ほとんど連携していない	全く連携していない	未回答	計
二次医療圏	仙南	5	8	0	2	3	18
	仙台	28	40	17	12	15	112
	うち仙台市	16	28	13	9	11	77
	大崎・栗原	17	8	5	1	5	36
	石巻・登米・気仙沼	8	18	4	5	4	39
実施体制	在支診/病（機能強化型）	17	11	1	3	3	35
	在支診/病（通常型）	23	39	9	6	10	87
	在支診/病以外	18	24	16	11	14	83
合計		58	74	26	20	27	205

●二次医療圏別



●実施体制別



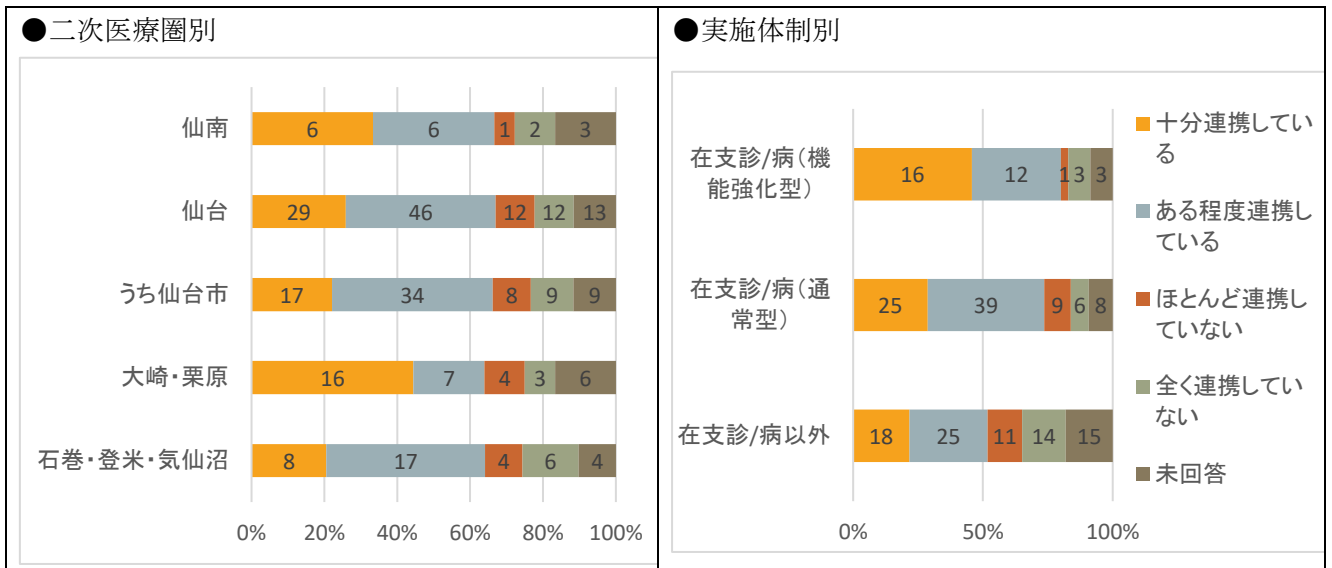
②患者情報の共有

・「十分連携している」「ある程度連携している」が135施設（65.9%）

②患者情報の共有

（単位：施設）

		十分連携している	ある程度連携している	ほとんど連携していない	全く連携していない	未回答	計
二次医療圏	仙南	6	6	1	2	3	18
	仙台	29	46	12	12	13	112
	うち仙台市	17	34	8	9	9	77
	大崎・栗原	16	7	4	3	6	36
	石巻・登米・気仙沼	8	17	4	6	4	39
実施体制	在支診/病（機能強化型）	16	12	1	3	3	35
	在支診/病（通常型）	25	39	9	6	8	87
	在支診/病以外	18	25	11	14	15	83
合計		59	76	21	23	26	205



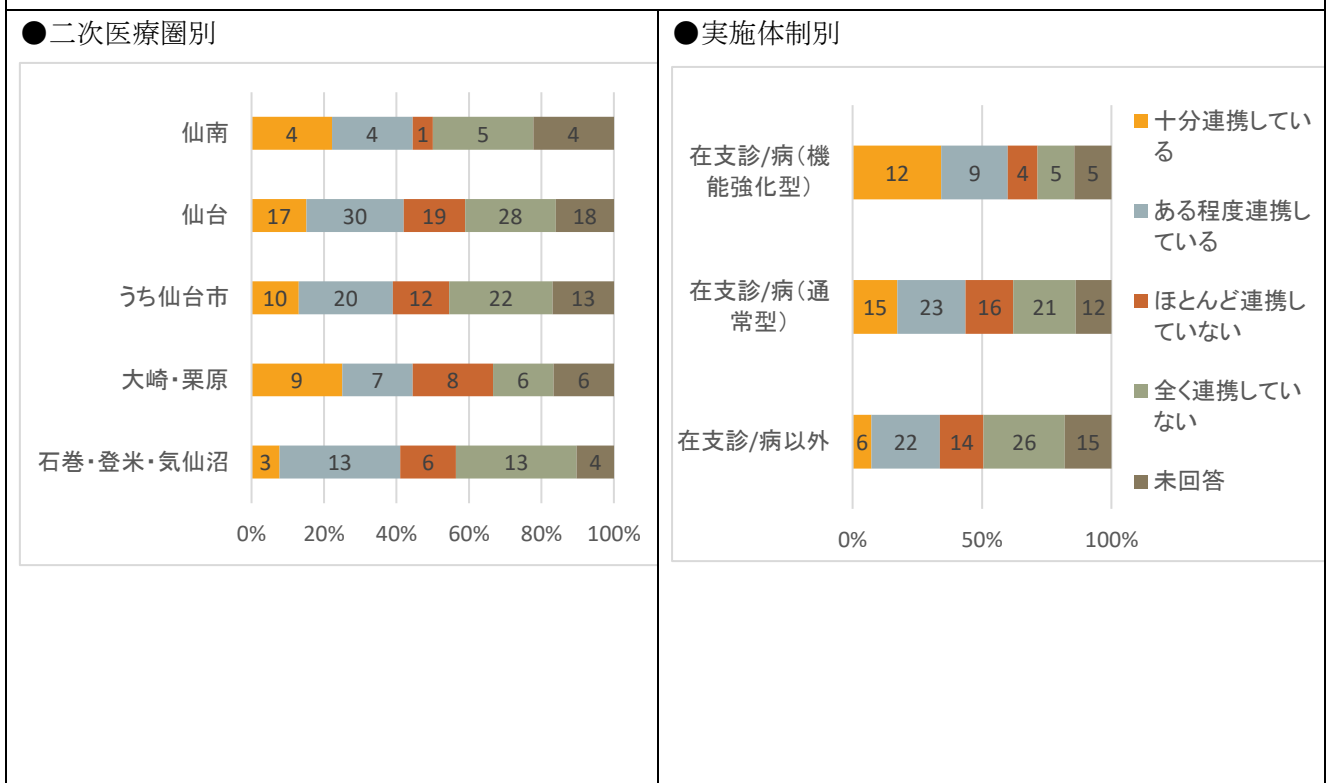
③24時間体制の確保（急変時への対応）

・「十分連携している」「ある程度連携している」が87施設（42.4%）

③24時間体制の確保（急変時への対応）

（単位：施設）

		十分連携している	ある程度連携している	ほとんど連携していない	全く連携していない	未回答	計
二次医療圏	仙南	4	4	1	5	4	18
	仙台	17	30	19	28	18	112
	うち仙台市	10	20	12	22	13	77
	大崎・栗原	9	7	8	6	6	36
	石巻・登米・気仙沼	3	13	6	13	4	39
実施体制	在支診/病（機能強化型）	12	9	4	5	5	35
	在支診/病（通常型）	15	23	16	21	12	87
	在支診/病以外	6	22	14	26	15	83
合計		33	54	34	52	32	205

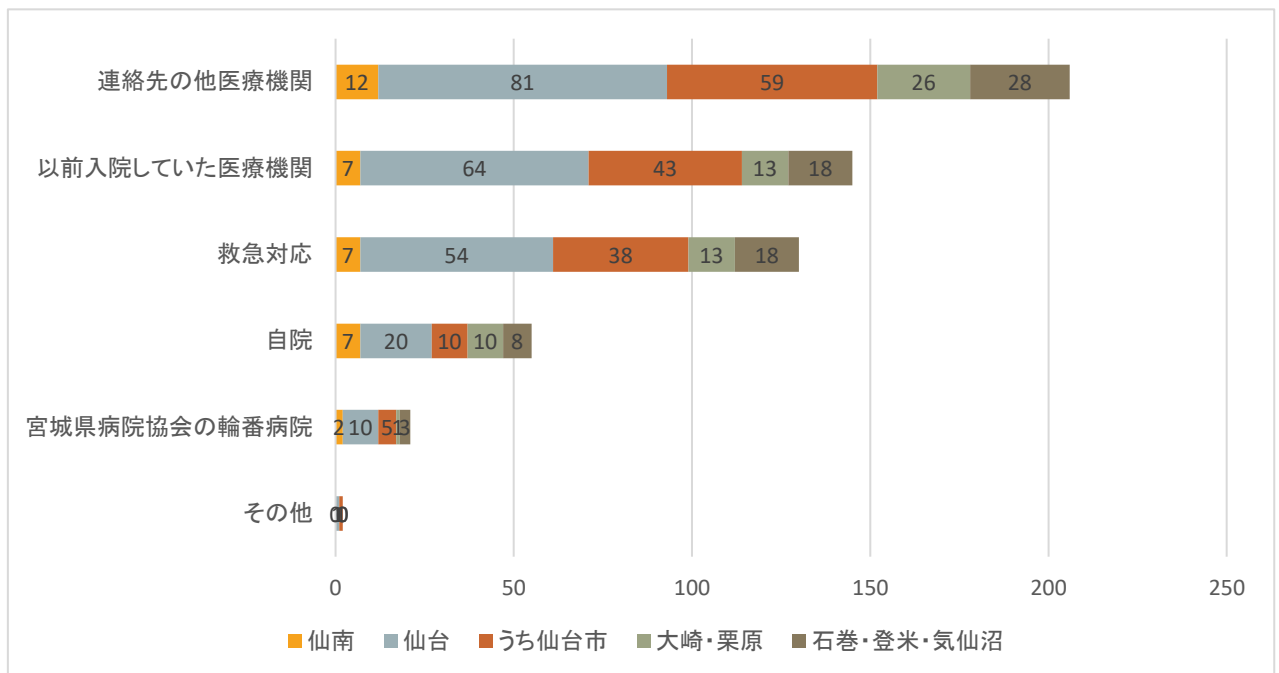


問 I-9 緊急時の入院先 複数回答可 (n=205)

- ・「連絡先の他医療機関」が147施設で最も多い(71.7%)
- ・上記のほか、「自院が在宅医療を行う前に患者が入院していた医療機関」(102施設・49.8%)、「救急対応」(92施設・44.9%)に回答が集中
- ・「その他」として、「電話相談」が挙げられた

(単位：施設)

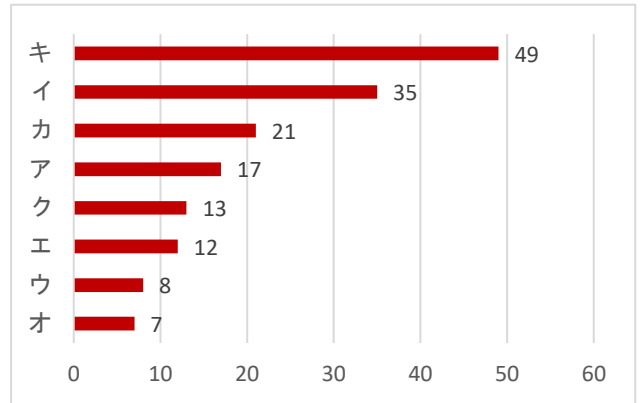
	回答のあった医療機関数	入院先						
		自院	連絡先の他医療機関	自院が在宅医療を行う前に患者が入院していた医療機関	宮城県病院協会の在宅患者入院受入体制事業の輪番病院	救急対応	その他	
二次医療圏	仙南	16	7	12	7	2	7	0
	仙台	110	20	81	64	10	54	1
	うち仙台市	76	10	59	43	5	38	1
	大崎・栗原	36	10	26	13	1	13	0
	石巻・登米・気仙沼	38	8	28	18	3	18	0
実施体制	在支診/病(機能強化型)	34	14	24	21	2	13	0
	在支診/病(通常型)	85	11	71	53	11	39	1
	在支診/病以外	81	20	52	28	3	40	0
合計		200	45	147	102	16	92	1



●在宅患者入院受入体制事業（宮城県病院協会）の輪番病院を活用しない理由 複数回答可

- ・「その他」が49施設で最も多い
- ・「その他」の理由として、「輪番病院が当日受け入れてくれない」「何度か断られた」「レスパイトを含め、準備不足の入院は体調を崩すため」などが挙げられた

- ア. 事業を知らない…17
- イ. 事業内容や活用方法がよくわからない…35
- ウ. 輪番病院が少ない…8
- エ. 輪番病院が少ない・遠い…12
- オ. 輪番病院の診療が症状に合致しない…7
- カ. 連携先や患者が以前入院していた医療機関で十分対応してもらえる…21
- キ. その他…49



問 I-10 緊急時の入院先に期待する医療機能や検査項目等について (n=84)

●主なもの

- ・空床の確保，療養病棟への転室
- ・入院の受入（夜間，高齢，短期間等の条件に関係なく）
- ・急変時の速やかな対応
- ・急性期対応
- ・リハビリ
- ・CT，MRI，X-P等の画像診断（頭部や腹部）
- ・在宅医療では対応できない専門医による診察と治療
- ・血球算定，生化学検査，X線，CT，MRI，培養検査，エコー検査，内視鏡（消化管，気管），入院加療，人工呼吸器管理
- ・緊急の出血に対する輸血
- ・呼吸困難やけいれん発作がコントロールできない時のPCU（緩和ケア）的な役割
- ・医療機関での窓口の統一化（地域連携室なのか，各診療科の先生なのか，各病院でさまざま）
- ・看取り
- ・ご本人，御家族に治療希望があって，かつ予期せぬ病状変化があった場合（心筋梗塞，脳梗塞，出血など）の対応
- ・精神科通院患者の場合の精神科かかりつけ医との情報共有
- ・退院時の状態やケアマネ，訪看への指示，食事，リハ，通所の内容にかかる情報提供

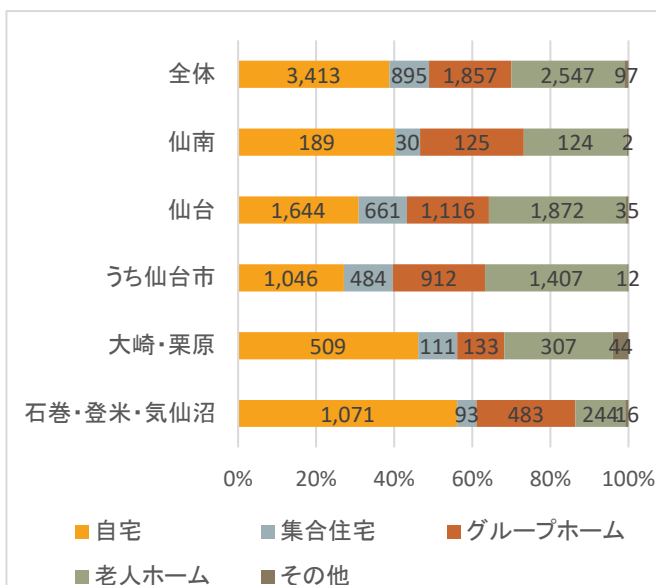
問Ⅱ 在宅医療の患者数

問Ⅱ-1 1ヶ月間（令和元年10月）の訪問診療における訪問先別の患者実人数（n=205）

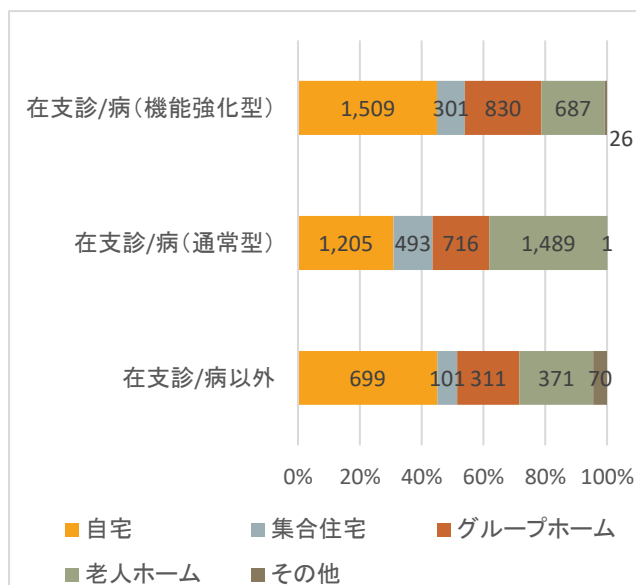
- ・「患者1人以上」は195施設（95.1%）、平均患者数（実人数）は47.3人
- ・医療圏別に見ると仙台医療圏は、その他の医療圏と比べ、「老人ホーム」の患者数の割合が高い
- ・実施体制別に見ると在支診/病（通常型）は、他と比べて「老人ホーム」の患者数の割合が高い
- ・小児（15歳未満）への訪問実績がある医療機関は4施設で、全体の2%
- ・小児（15歳未満）患者数は65人で、全患者数の0.7%
- ・「その他」は、「看護小規模多機能型居宅介護」、「ケアハウス」、「介護サービス事業所」が挙げられた

	在宅患者の有無 (単位:施設)		患者実人数(単位:人)											1医療機関あたりの平均患者数	
	0人 (未回答)	1人以上	(15歳未満)	訪問先別					老人ホーム	その他 (訪問先未回答)	(15歳未満)				
				自宅 (15歳未満)	集合住宅 (15歳未満)	グループホーム (15歳未満)	老人ホーム	その他 (15歳未満)							
二次医療圏	仙南	1	17	470	7	189	7	30	0	125	0	124	2	0	27.6
	仙台	7	105	5,379	54	1,644	27	661	27	1,116	0	1,872	35	0	51.2
	うち仙台市	5	72	3,908	54	1,046	27	484	27	912	0	1,407	12	0	54.3
	大崎・栗原	1	35	1,386	0	509	0	111	0	133	0	307	44	0	39.6
	石巻・登米・気仙沼	1	38	1,984	4	1,071	2	93	0	483	0	244	16	2	52.2
実施体制	在支診/病(機能強化型)	0	35	3,683	2	1,509	0	301	0	830	0	687	26	2	105.2
	在支診/病(通常型)	5	82	3,973	54	1,205	27	493	27	716	0	1,489	1	0	48.5
	在支診/病以外	5	78	1,563	9	699	9	101	0	311	0	371	70	0	20
合計	10	195	9,219	65	3,413	36	895	27	1,857	0	2,547	97	2	47.3	

●二次医療圏別



●実施体制別



●患者実人数のうち口腔ケアが必要と思われる患者数

- ・問Ⅱ-1 の患者数のうち、口腔ケアが必要な患者数（歯科治療が必要又は専門的・継続的な口腔ケアが必要）は1,964人（21.3%）

		歯科治療が必要		専門的・継続的な口腔ケアが必要	
			(15歳未満)		(15歳未満)
二次医療圏	仙南	17	2	142	2
	仙台	358	20	734	20
	うち仙台市	181	20	437	20
	大崎・栗原	82	20	187	0
	石巻・登米・気仙沼	252	0	192	1
実施体制	在支診/病（機能強化型）	233	0	676	0
	在支診/病（通常型）	249	10	383	20
	在支診/病以外	227	32	196	3
合計		709	42	1,255	23

問Ⅱ-2 問Ⅱ-1 の訪問診療患者のうち、医療的ケア児等の実人数

- ・回答のあった医療的ケア児の実人数は306人（3.3%）
- ・二次医療圏別に見ると仙台医療圏の患者数がほとんどを占めている
- ・実施体制別に見ると在支診/病（通常型）の患者数が多い

		医療的ケア児の実人数		
		0～5歳	6～14歳	15歳以上
二次医療圏	仙南	0	0	21
	仙台	31	23	200
	うち仙台市	31	23	198
	大崎・栗原	0	0	15
	石巻・登米・気仙沼	0	3	13
実施体制	在支診/病（機能強化型）	0	2	27
	在支診/病（通常型）	31	23	164
	在支診/病以外	0	1	58
合計		31	26	249

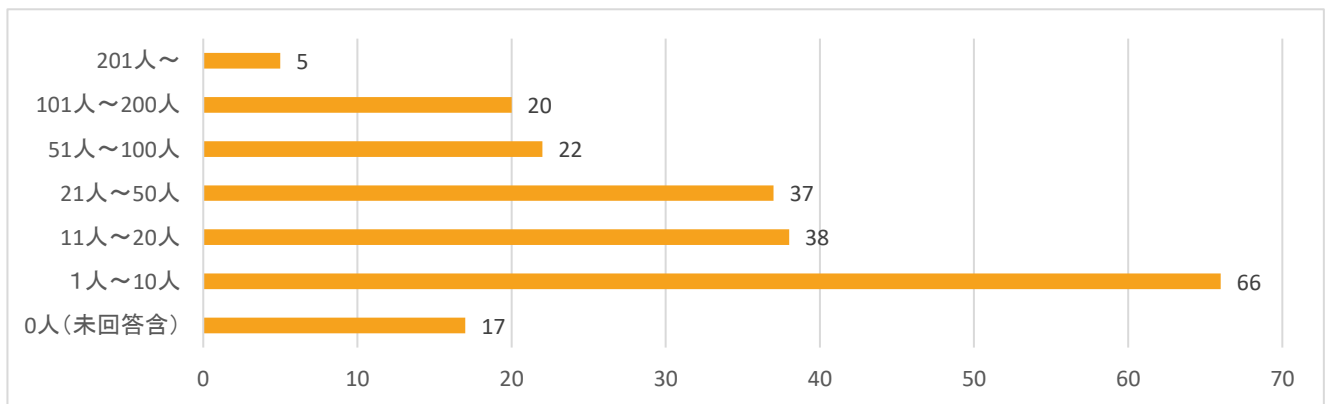
問Ⅱ-3 訪問診療を行える最大患者数（1ヶ月間あたりの実人数）（n=205）

- ・訪問診療が可能な患者の人数は8,759人であり、1医療機関あたり46.6人
- ・問Ⅱ-1の患者実人数と比べると105.3%であり、現在の患者実人数は訪問可能な人数を超過している

		診療可能な患者が0人又は未回答の医療機関数 (単位：施設)	訪問診療が可能な患者数が1人以上 (単位：人)			1医療機関あたりの平均訪問患者数 (単位：人)
			医療機関数	診療可能な患者の実人数	(15歳未満)	
二次医療圏	仙南	1	17	679	0	39.9
	仙台	9	103	4,997	70	48.5
	うち仙台市	9	68	3,383	60	49.8
	大崎・栗原	3	33	1,340	17	40.6
	石巻・登米・気仙沼	4	35	1,743	33	49.8
実施体制	在支診/病（機能強化型）	4	31	2,892	16	93.3
	在支診/病（通常型）	7	80	4,095	98	51.2
	在支診/病以外	6	77	1,772	6	23
合計		17	188	8,759	120	46.6

●患者数別医療機関数

- ・1人から10人が66施設（32.2%）
- ・最大で370人



●訪問診療の増加可能な患者数(n=205)

▶算出方法

「1ヵ月間に訪問診療を行える最大患者数(問Ⅱ-3)」と「1ヵ月間の患者実人数(問Ⅱ-1)」の差が
 マイナス：患者減，ゼロ：患者同数，プラス：患者増が可能 として集計

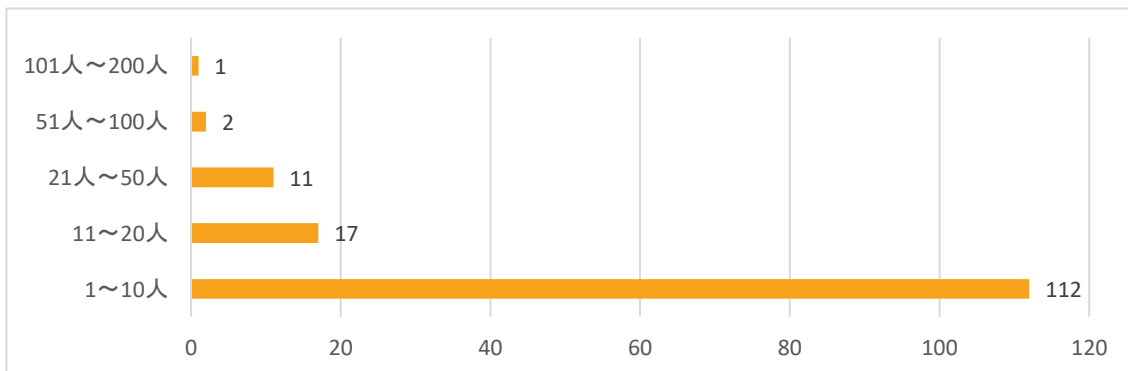
※「問Ⅱ-1」及び「問Ⅱ-3」のいずれも回答した医療機関のみ集計対象

- ・患者1人以上の増加が可能な医療機関は143施設(69.8%)
- ・1医療機関あたりの平均増加可能人数は10.1人であり、在支診/病が最も多く、13.9人

		R1.10の患者数と比較して					未回答の 医療機関数 (単位：施設)	
		患者減	患者同数	1人以上の患者増が可能				
		医療機関数 (単位：施設)	医療機関数 (単位：施設)	医療機関数 (単位：施設)	増加可能人数 (単位：人)	(15歳未満)		1医療機関あたりの 平均増加可能患者数 (単位：人)
保健所・支所別	仙南	3	1	12	212	0	17.7	2
	塩釜	0	2	11	70	0	6.4	0
	岩沼	1	2	12	121	10	10.1	1
	黒川	0	1	4	20	0	5	1
	大崎	2	3	14	172	11	12.3	3
	栗原	0	2	11	130	6	11.8	1
	石巻	3	2	12	99	15	8.3	3
	登米	1	1	9	78	6	8.7	0
	気仙沼	1	0	6	43	8	7.2	1
	仙台市	3	10	52	493	6	9.5	12
二次医療圏	仙南	3	1	12	212	0	17.7	2
	仙台	4	15	79	704	16	8.9	14
	うち仙台市	3	10	52	493	6	9.5	12
	大崎・栗原	2	5	25	302	17	12.1	4
	石巻・登米・気仙沼	5	3	27	220	29	8.1	4
実施体制	在支診/病(機能強化型)	3	2	26	362	14	13.9	4
	在支診/病(通常型)	6	8	62	684	44	11	11
	在支診/病以外	5	14	55	392	4	7.1	9
合計		14	24	143	1438	62	10.1	24

※未回答医療機関数・・・問Ⅱ-1又は問Ⅱ-3が未回答の医療機関

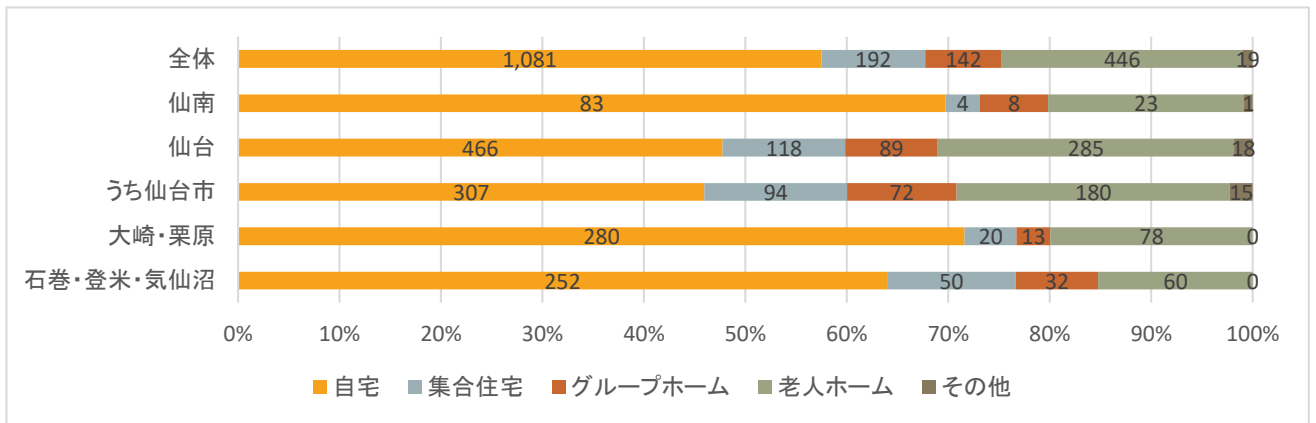
●増加可能な患者数別医療機関数



問Ⅱ-4 1年間（平成30年10月～令和元年11月）の在宅での看取りの実人数（n=205）

- ・看取りを実施したのは142施設（69.3%）
- ・看取りの実施場所は、『自宅』が1,081人で最も多い（54.7%）
- ・二次医療圏別にみると仙台医療圏は「老人ホーム」での看取り患者の割合が高い

		看取りの有無 (単位：施設)		患者実人数 (単位：人)										(施設) 1医療機関あたりの平均看取り患者数	
		0人 (未回答含)	1人以上	(15歳未満)	看取りの場所					その他 (訪問先未回答含)					
					自宅	集合住宅	グループホーム	老人ホーム	(15歳未満)	(15歳未満)	(15歳未満)	(15歳未満)	(15歳未満)		
															(15歳未満)
二次医療圏	仙南	6	12	119	0	83	0	4	0	8	0	23	1	0	9.9
	仙台	36	76	1,033	1	466	0	118	1	89	0	285	18	0	13.6
	うち仙台市	27	50	725	1	307	0	94	1	72	0	180	15	0	14.5
	大崎・栗原	11	25	429	0	280	0	20	0	13	0	78	0	0	17.2
	石巻・登米・気仙沼	10	29	394	0	252	0	50	0	32	0	60	0	0	13.6
実施体制	在支診/病（機能強化型）	2	33	985	0	621	0	66	0	65	0	125	14	0	29.8
	在支診/病（通常型）	20	67	817	1	375	0	123	1	64	0	255	0	0	12.2
	在支診/病以外	41	42	173	0	85	0	3	0	13	0	66	5	0	4.1
合計		63	142	1,975	1	1,081	0	192	1	142	0	446	19	0	13.9



●1年間の看取り患者数が「0人」の医療機関における看取りの実施状況(n=63)

・「実施している」が28施設(44.3%)

(単位：施設)

		実施している	実施したことはないが 対応できる	過去実施していたが、 現時点では実施なし	実施なし	未回答
保健所・ 支所別	仙南	2	1	1	2	0
	塩釜	3	0	0	0	1
	岩沼	1	0	1	2	0
	黒川	1	0	0	0	0
	大崎	2	0	1	2	0
	栗原	4	0	0	2	0
	石巻	3	0	0	2	0
	登米	2	0	0	0	1
	気仙沼	1	0	0	0	1
	仙台市	9	4	3	5	6
二次医療 圏	仙南	2	1	1	2	0
	仙台	14	4	4	7	7
	うち仙台市	9	4	3	5	6
	大崎・栗原	6	0	1	4	0
	石巻・登米・気仙沼	6	0	0	2	2
実施 体制	在支診/病（機能強化型）	1	0	0	0	1
	在支診/病（通常型）	11	2	1	2	4
	在支診/病以外	16	3	5	13	4
合計		28	5	6	15	9

※「ウ 過去に実施していたが現時点では実施していない」の理由

- ・患者側が希望しないため
- ・24時間対応が困難・家人の要求が過大
- ・24時間365日体制は不可で、限られた状況のみで対応
- ・医師不足のため、夜間などの看取りが困難
- ・人員不足

※「エ 実施していない」の理由

- ・最終看取りは自院のため
- ・看取りを要する科ではないため
- ・常勤医1人のみで、応援のない時の往診は不可能
- ・疾患が対象外のため
- ・訪問診療のため、急変時対応困難
- ・マンパワー不足
- ・訪看に頼んでいる
- ・家族が病院での看取りを希望する

●1年間の看取り患者数が「1人以上」の医療機関における看取りの対応方法(n=142) **複数回答可**

・「自院の医師が出来る限り 24 時間対応」が 114 施設 (80.3%)

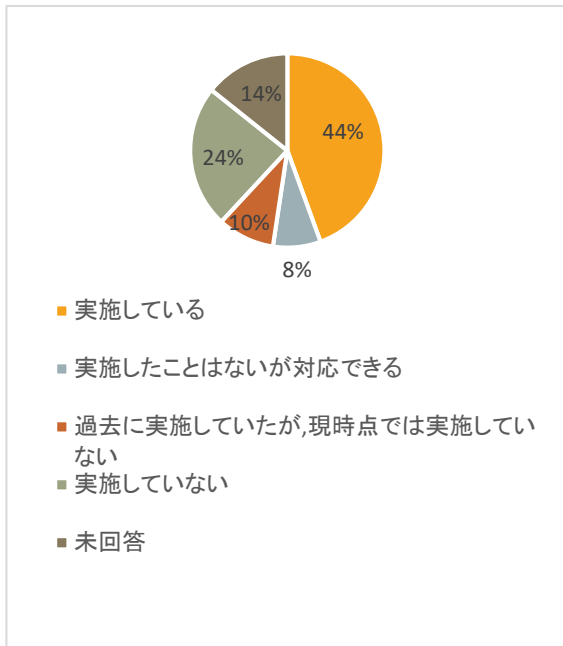
(単位：施設)

		自院の医師が出来る限り 24時間対応	夜間は訪問看護師が対応し、 医師は翌朝訪問	その他	未回答
保健所・支所別	仙南	9	4	0	0
	塩釜	8	0	1	0
	岩沼	11	1	0	0
	黒川	4	2	0	0
	大崎	12	7	2	0
	栗原	7	3	0	0
	石巻	10	4	3	2
	登米	4	5	0	0
	気仙沼	5	1	1	0
仙台市	44	10	1	1	
二次医療圏	仙南	9	4	0	0
	仙台	67	13	2	1
	うち仙台市	44	10	1	1
	大崎・栗原	19	10	2	0
	石巻・登米・気仙沼	19	10	4	2
実施体制	在支診/病（機能強化型）	30	7	3	0
	在支診/病（通常型）	58	14	1	2
	在支診/病以外	26	16	4	1
合計		114	37	8	3

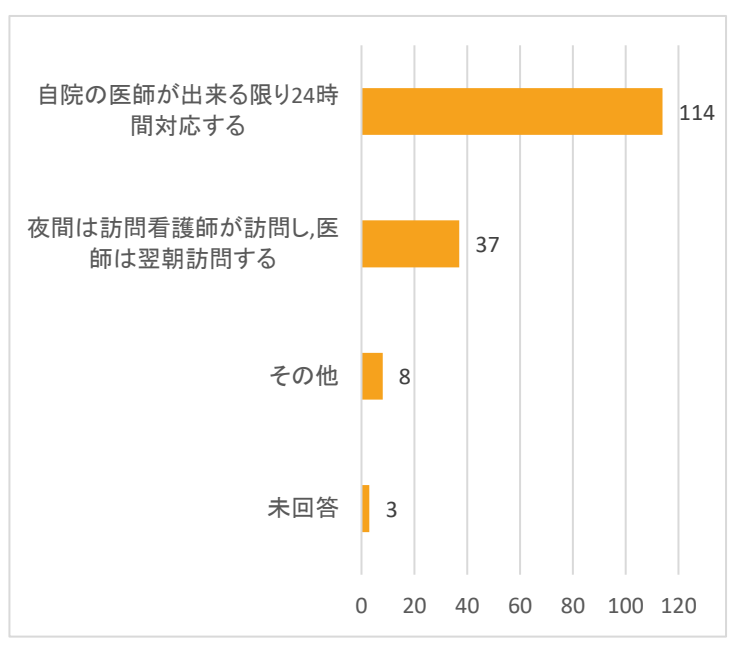
※「ウ その他」の内容

- ・夜間は訪問看護師が相談対応し、医師は翌朝訪問する
- ・日中対応可、夜間は自院対応
- ・夜間の場合は朝まで待ってもらふこともある
- ・平日は医師が訪問するが、夜間、休日は自宅の車で来院していただき、死亡確認する
- ・開院が週2日なので、その日に該当する場合のみ対応
- ・自院又は連携医療機関で対応
- ・平日と週末・連休で分けている
- ・訪問看護師、宿直看護師又は従事者対応も含む

●看取り実施の有無



●医療機関における看取りの対応方法



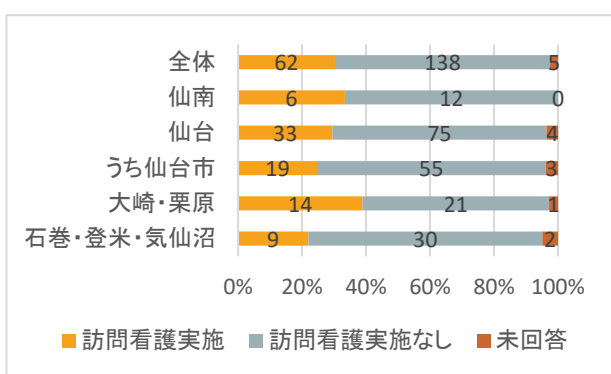
問Ⅱ-5 訪問看護の体制(n=205)

- ・「訪問看護を実施」が 62 施設 (30.2%)
- ・訪問看護を実施している施設のうち、「院内に訪問看護部門あり」が 22 施設 (35.5%)

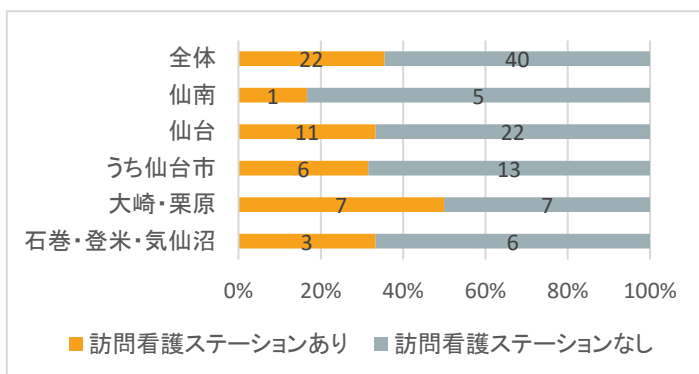
(単位：施設)

		訪問看護を実施		訪問看護実施なし	未回答	
		院内に訪問看護部門あり	院内に訪問看護部門なし			
二次医療圏	仙南	6	1	5	12	0
	仙台	33	11	22	75	4
	うち仙台市	19	6	13	55	3
	大崎・栗原	14	7	7	21	1
	石巻・登米・気仙沼	9	3	6	30	0
実施体制	在支診/病（機能強化型）	16	8	8	19	0
	在支診/病（通常型）	23	6	17	60	4
	在支診/病以外	23	8	15	59	1
合計		62	22	40	138	5

●訪問看護実施の有無



●訪問看護ステーションの有無

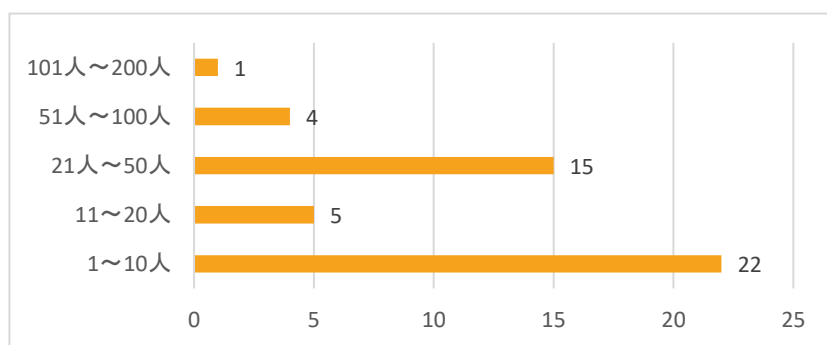


●訪問看護を実施した実人数 (n=47)

- ・1施設あたりの平均患者数は約21人
- ・実施体制別にみると在支診/病(通常型)の平均患者数がもっとも多い(約28人)

		実績のあった医療機関数 (単位:施設)	訪問看護を実施した実人数(単位:人)					
			(15歳未満)	院内に訪問看護部門あり	(15歳未満)	院内に訪問看護部門なし	(15歳未満)	
二次医療圏	仙南	3	33	0	3	0	30	0
	仙台	27	559	0	408	0	151	0
	うち仙台市	15	259	0	168	0	91	0
	大崎・栗原	9	157	0	140	0	17	0
	石巻・登米・気仙沼	8	241	0	84	0	157	0
実施体制	在支診/病(機能強化型)	15	340	0	250	0	90	0
	在支診/病(通常型)	16	455	0	238	0	217	0
	在支診/病以外	16	195	0	147	0	48	0
合計		47	990	0	635	0	355	0

●患者数別の医療機関数



問Ⅱ-6 過去に、病院への入院などにより自宅(集合住宅・グループホーム含む)で看取れなかった患者の有無とその理由 (n=205) **複数回答可**

- ・「家族の希望」が148施設(72.2%)

		回答のあった医療機関数	理由			
			本人の希望	家族の希望	自院での看取り対応困難	その他
二次医療圏	仙南	13	4	11	3	3
	仙台	91	32	73	32	19
	うち仙台市	63	26	51	23	9
	大崎・栗原	34	12	33	12	2
	石巻・登米・気仙沼	35	12	31	13	4
実施体制	在支診/病(機能強化型)	30	17	28	10	6
	在支診/病(通常型)	74	27	65	24	12
	在支診/病以外	69	16	55	26	10
合計		173	60	148	60	28

※「4 その他」の内容

- ・入院中死亡した
- ・入院治療が必要になった
- ・吸痰階数や苦痛の緩和が在宅では困難になった
- ・病状悪化による緊急入院
- ・施設側の判断, 希望
- ・本人・家族の希望で入院
- ・対象看取り疾患以外の急変
- ・本人が希望していても, 家族の対応が難しい場合
- ・専門的な治療が必要になった (末期がんで疼痛コントロールが難しくなった等)

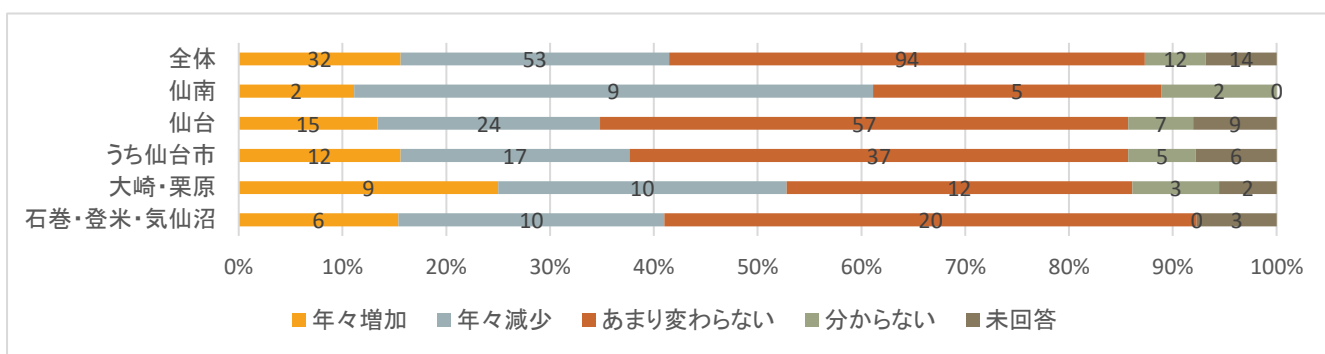
問Ⅱ-7 在宅医療患者数のここ数年の動向

●自宅 (一戸建て, アパート, マンション) (n=205)

- ・「あまり変わらない」が 94 施設 (45.9%)
- ・二次医療圏別にみると仙南医療圏で「年々減少している」の回答が多い

(単位: 施設)

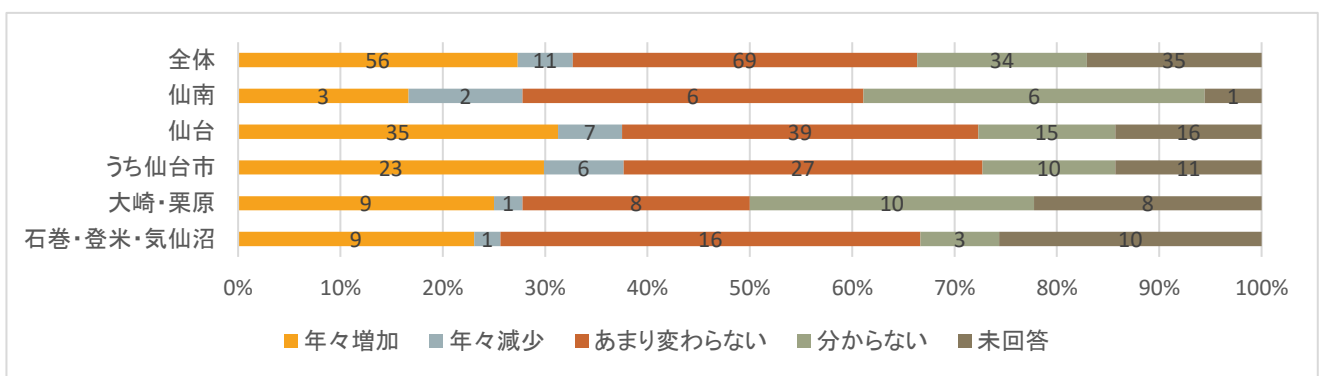
		年々増加	年々減少	あまり変わらない	わからない	未回答	計
二次医療圏	仙南	2	9	5	2	0	18
	仙台	15	24	57	7	9	112
	うち仙台市	12	17	37	5	6	77
	大崎・栗原	9	10	12	3	2	36
	石巻・登米・気仙沼	6	10	20	0	3	39
実施体制	在支診/病 (機能強化型)	9	4	19	0	3	35
	在支診/病 (通常型)	14	26	35	4	8	87
	在支診/病以外	9	22	40	8	4	83
合計		32	53	94	12	14	205



●高齢者住宅（サービス付き高齢者向け住宅，グループホーム）（n=205）

- ・「あまり変わらない」が69施設（33.7%）
- ・自宅に比べ、「年々増加している」と回答する施設が多い（27.3%）

		年々増加	年々減少	あまり変わらない	わからない	未回答	計
二次医療圏	仙南	3	2	6	6	1	18
	仙台	35	7	39	15	16	112
	うち仙台市	23	6	27	10	11	77
	大崎・栗原	9	1	8	10	8	36
	石巻・登米・気仙沼	9	1	16	3	10	39
実施体制	在支診/病（機能強化型）	18	0	10	4	3	35
	在支診/病（通常型）	21	9	34	9	14	87
	在支診/病以外	17	1	25	21	19	83
合計		56	11	69	34	35	205

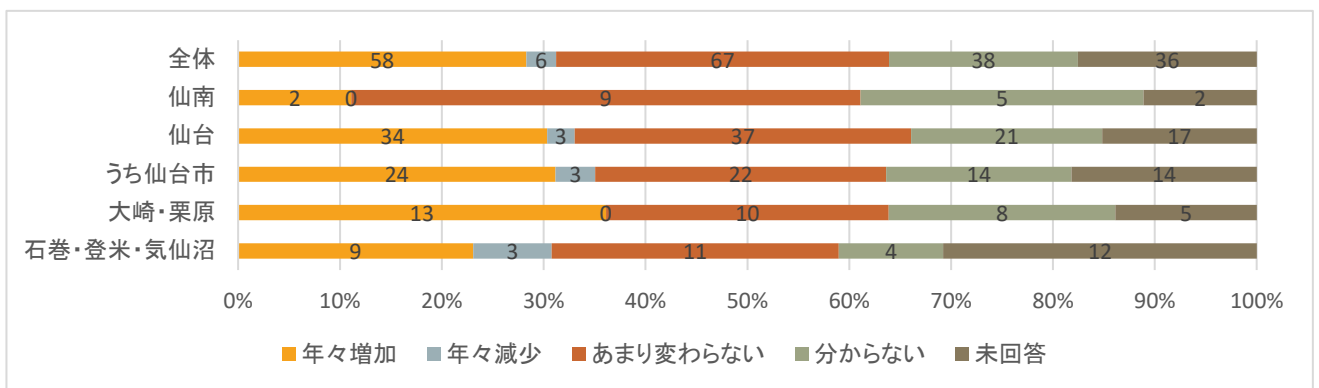


●老人ホーム（養護老人ホーム，特別養護老人ホーム，軽費老人ホーム，有料老人ホーム）（n=205）

- ・「あまり変わらない」が67施設（32.7%）
- ・高齢者住宅同様，自宅に比べ「年々増加している」と回答する施設が多い（28.3%）

（単位：施設）

		年々増加	年々減少	あまり変わらない	わからない	未回答	計
二次医療圏	仙南	2	0	9	5	2	18
	仙台	34	3	37	21	17	112
	うち仙台市	24	3	22	14	14	77
	大崎・栗原	13	0	10	8	5	36
	石巻・登米・気仙沼	9	3	11	4	12	39
実施体制	在支診/病（機能強化型）	19	0	8	4	4	35
	在支診/病（通常型）	20	5	34	14	14	87
	在支診/病以外	19	0	25	20	19	83
合計		58	6	67	38	36	205



●上記設問のうち、「年々増加している」と感じる要因

自宅での在宅医療が増加

- ・認知症の悪化による家族への負担が大きい
- ・家族が医療機関に付きそうことができないため，訪問診療をお願いされる
- ・住み慣れた御自宅での看取りを希望される方が多い

高齢者住宅への入居が増加

- ・老人ホームに入れないため，一時的にサ高住に入居する患者が増えているため
- ・1人生活や老老介護等により，在宅での生活が困難な患者が増えてきているため
- ・自宅での介護が困難になってきているのではないかと（介護の担い手不足）

老人ホームへの入居が増加

- ・近くの医療機関の閉鎖による紹介患者が多くいるため
- ・高齢者のみ世帯の増
- ・老人ホームやグループホームで看取りをすることが増加している
- ・排泄や歩行など自立している間は自宅で見られるが，入院してADLが低下すると高齢者世帯や独身の子と同居，仕事をしているなどで日中1人など，自宅での介護の継続が困難になっているケースが多い
- ・自宅での介護が困難になってきているのではないかと（介護の担い手不足）
- ・看取り対応の介護施設が増えた

●上記設問のうち「年々減少している」と感じる要因

自宅での在宅医療が減少

- ・医師の体力・時間的制約から新規の在宅はお断りしている
- ・自分で介護できない家族の増加，施設入所が多い
- ・家族の意識が施設希望に変化してきている
- ・自宅での看取りも含め大変なので，施設に預けてしまう場合が多い
- ・訪問診療の対象がほぼ高齢のため，亡くなる患者数が多く，数は年々減少している
- ・在宅医の高齢化，体調不良などにより，対応出来る患者が減ってきている

高齢者住宅への入居，老人ホームへの入居が減少

- ・在宅専門医が増えているため。病院入院中に在宅往診と連携して在宅で介護していく流れができてきた。
- ・介護の担い手が少なくなっている
- ・市内に在宅専門の病院ができたので，24時間対応が必要な場合，そちらに紹介することが増えた

●上記設問のうち、「あまり変わらない」と感じる要因

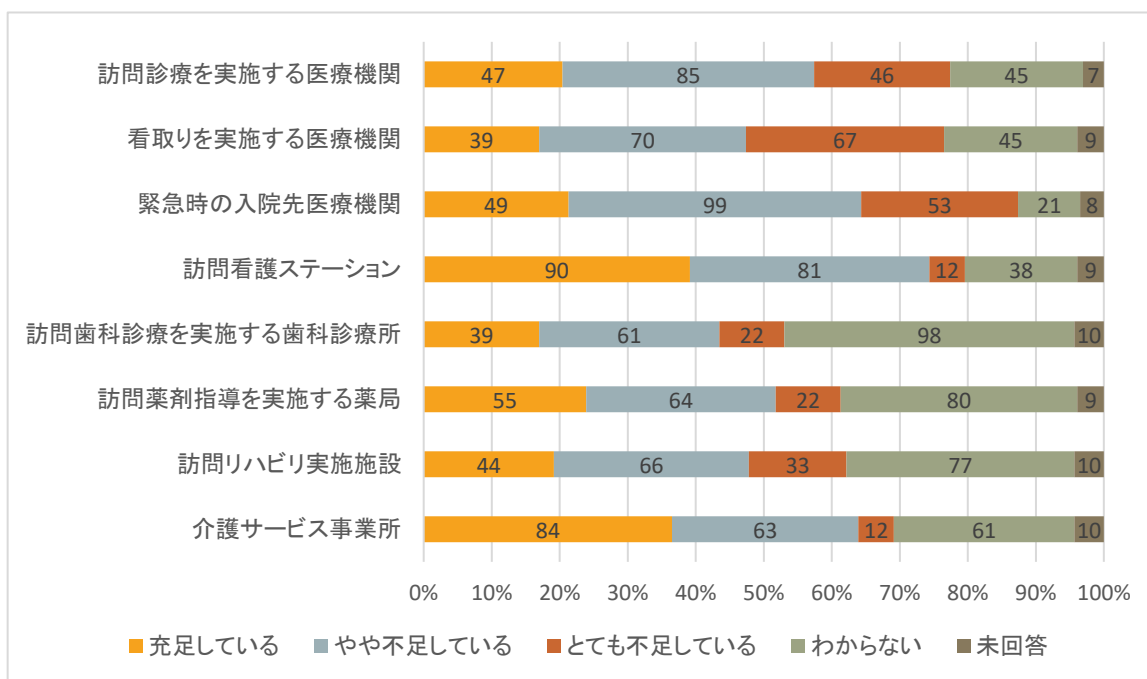
- ・亡くなる方と新規患者が同数
- ・外来・公務もあり，自ずと時間を要する訪問診療に振り分けられる時間は限られるため，そう単純には増やせない
- ・自院で引き受け可能な患者数は限りがあり，亡くなる患者も多い
- ・集合住宅，老人ホーム等は，入所者数が決まっているので変動ありません
- ・比較的短期間で看取りになるか，急変し救急搬送されて病院で亡くなるかの転帰を迎える方が多い。
- ・全体的に患者の病状が落ち着いている
- ・訪問する数がある程度決めている
- ・グループホームは人数が決まっている
- ・集合住宅についても定員があり安定
- ・現在の在宅患者の数が在宅医療を行えるキャパシティのほぼ上限だから

問Ⅲ 在宅医療に対する考え

問Ⅲ-1 訪問診療を行っている地域での関係機関の充足状況 (n=230)

- ・医療機関（訪問診療・看取り・入院先）は「やや不足している」「とても不足している」が多い
- ・訪問看護ステーション，介護サービス事業所は「充足している」が多い
- ・歯科診療所や薬局は「わからない」が多い

●全体集計



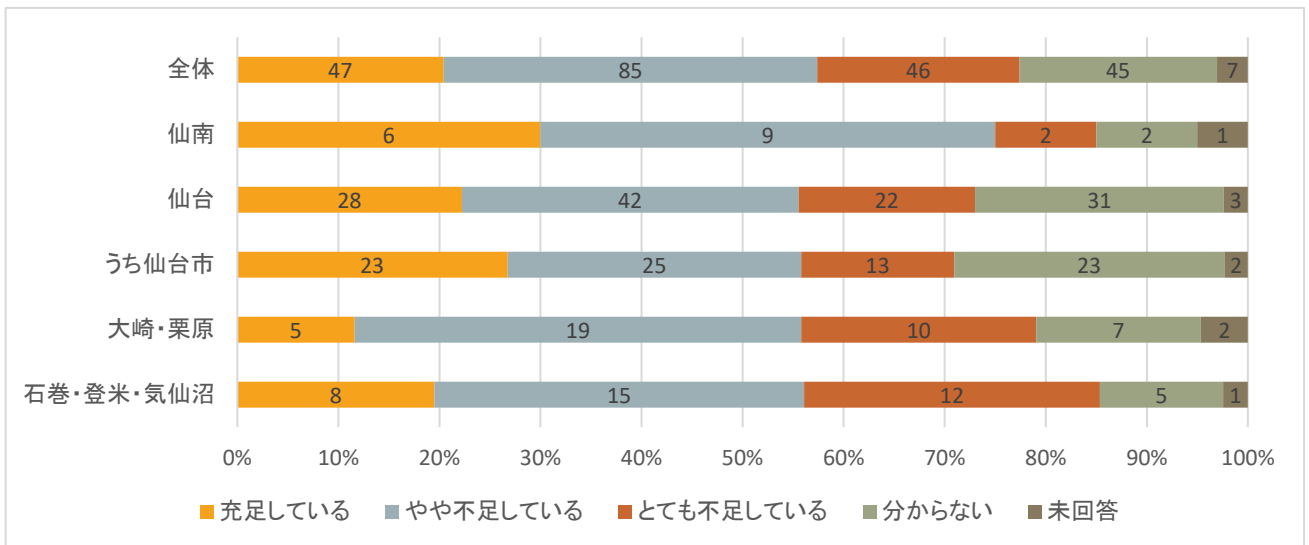
●訪問診療を実施する医療機関

- ・「やや不足している」が85施設（37%）
- ・医療圏別にみると大崎・栗原医療圏と石巻・登米・気仙沼医療圏で「とても不足している」が多い

(単位：施設)

		充足している	やや不足している	とても不足している	わからない	未回答	計
二次医療圏	仙南	6	9	2	2	1	20
	仙台	28	42	22	31	3	126
	うち仙台市	23	25	13	23	2	86
	大崎・栗原	5	19	10	7	2	43
	石巻・登米・気仙沼	8	15	12	5	1	41
実施体制	在支診/病（機能強化型）	9	14	8	3	1	35
	在支診/病（通常型）	19	31	15	20	2	87
	在支診/病以外	19	40	23	22	4	108
合計		47	85	46	45	7	230

●二次医療圏別



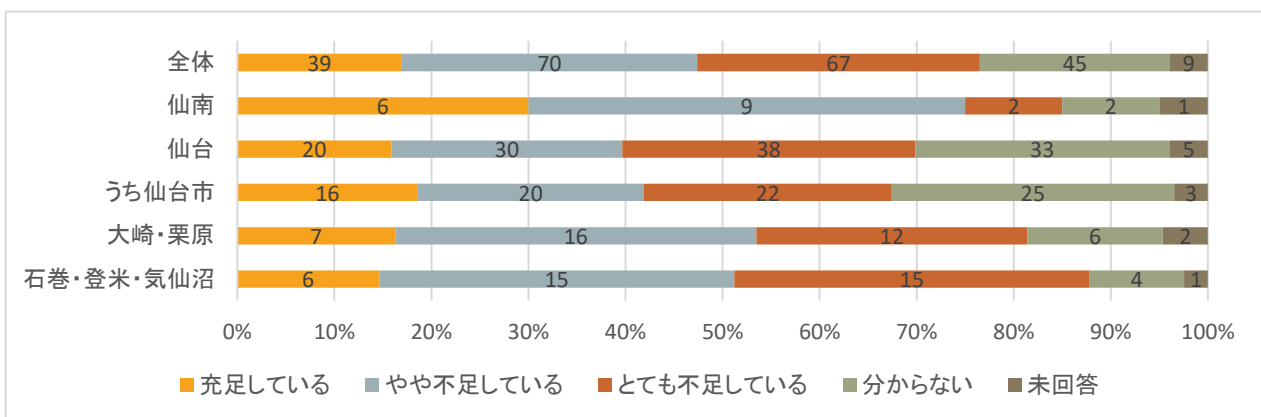
●看取りを実施する医療機関

- ・「やや不足している」が70施設（30.4%）
- ・医療圏別にみると石巻・登米・気仙沼医療圏で「とても不足している」と回答する割合が高い

(単位：施設)

		充足している	やや不足している	とても不足している	わからない	未回答	計
二次医療圏	仙南	6	9	2	2	1	20
	仙台	20	30	38	33	5	126
	うち仙台市	16	20	22	25	3	86
	大崎・栗原	7	16	12	6	2	43
	石巻・登米・気仙沼	6	15	15	4	1	41
実施体制	在支診/病（機能強化型）	8	15	7	4	1	35
	在支診/病（通常型）	17	24	24	19	3	87
	在支診/病以外	14	31	36	22	5	108
合計		39	70	67	45	9	230

●二次医療圏別

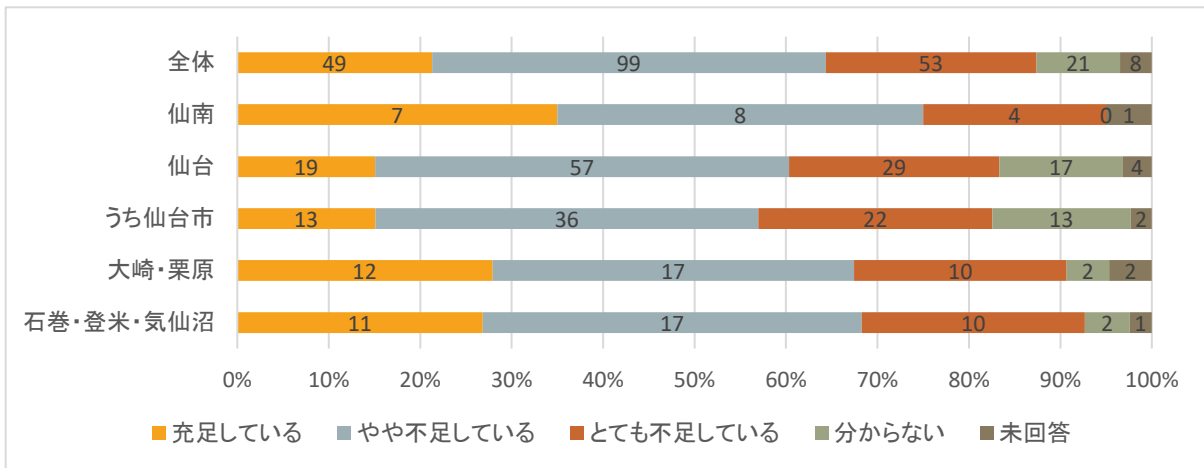


●緊急時の入院先医療機関

- ・「やや不足している」が 99 施設 (43%)
- ・医療圏別にみると仙台医療圏以外では、「充足している」の回答割合も高い

(単位：施設)

		充足している	やや不足している	とても不足している	わからない	未回答	計
二次医療圏	仙南	7	8	4	0	1	20
	仙台	19	57	29	17	4	126
	うち仙台市	13	36	22	13	2	86
	大崎・栗原	12	17	10	2	2	43
	石巻・登米・気仙沼	11	17	10	2	1	41
実施体制	在支診/病（機能強化型）	6	14	14	0	1	35
	在支診/病（通常型）	22	39	17	7	2	87
	在支診/病以外	21	46	22	14	5	108
合計		49	99	53	21	8	230



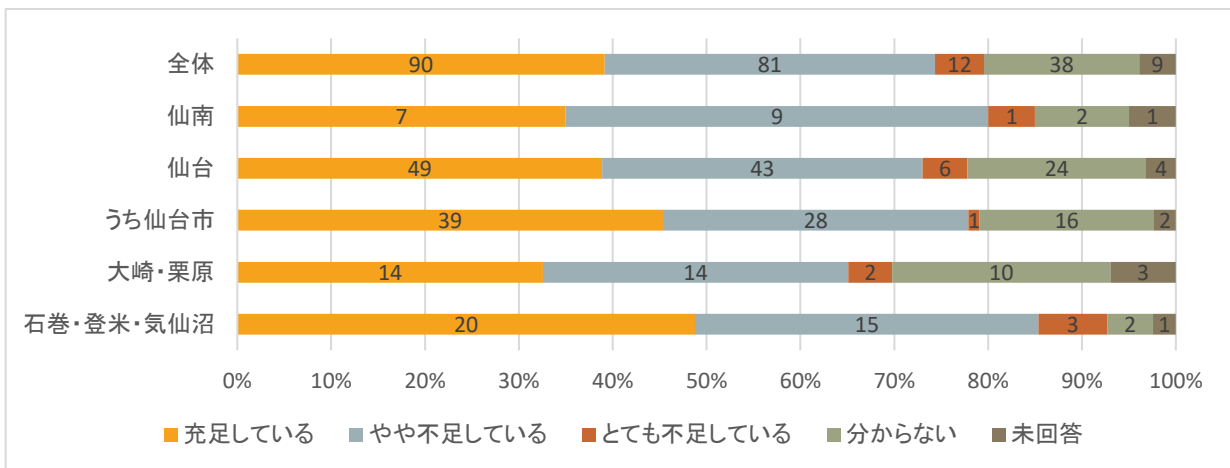
●訪問看護ステーション

- ・「充足している」が 90 施設 (39.1%)

(単位：施設)

		充足している	やや不足している	とても不足している	わからない	未回答	計
二次医療圏	仙南	7	9	1	2	1	20
	仙台	49	43	6	24	4	126
	うち仙台市	39	28	1	16	2	86
	大崎・栗原	14	14	2	10	3	43
	石巻・登米・気仙沼	20	15	3	2	1	41
実施体制	在支診/病（機能強化型）	17	13	2	2	1	35
	在支診/病（通常型）	40	28	3	13	3	87
	在支診/病以外	33	40	7	23	5	108
合計		90	81	12	38	9	230

●二次医療圏別



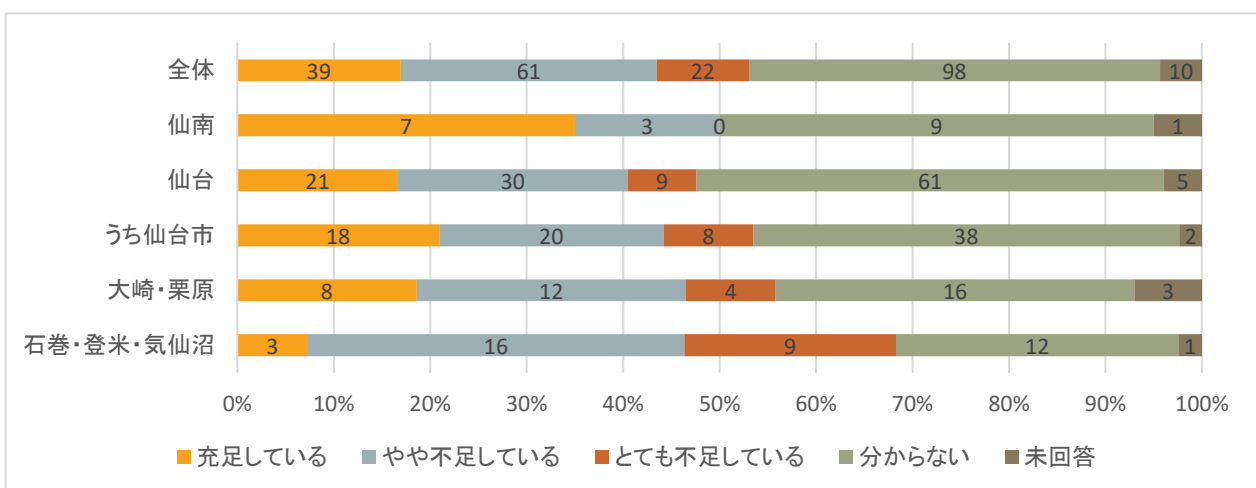
●訪問歯科診療を実施する歯科診療所

- ・「わからない」が98施設（42.6%）
- ・「わからない」以外では、「やや不足している」が多い（61施設・26.5%）

(単位：施設)

		充足している	やや不足している	とても不足している	わからない	未回答	計
二次医療圏	仙南	7	3	0	9	1	20
	仙台	21	30	9	61	5	126
	うち仙台市	18	20	8	38	2	86
	大崎・栗原	8	12	4	16	3	43
	石巻・登米・気仙沼	3	16	9	12	1	41
実施体制	在支診/病（機能強化型）	9	12	4	8	2	35
	在支診/病（通常型）	17	24	9	34	3	87
	在支診/病以外	13	25	9	56	5	108
合計		39	61	22	98	10	230

●二次医療圏別

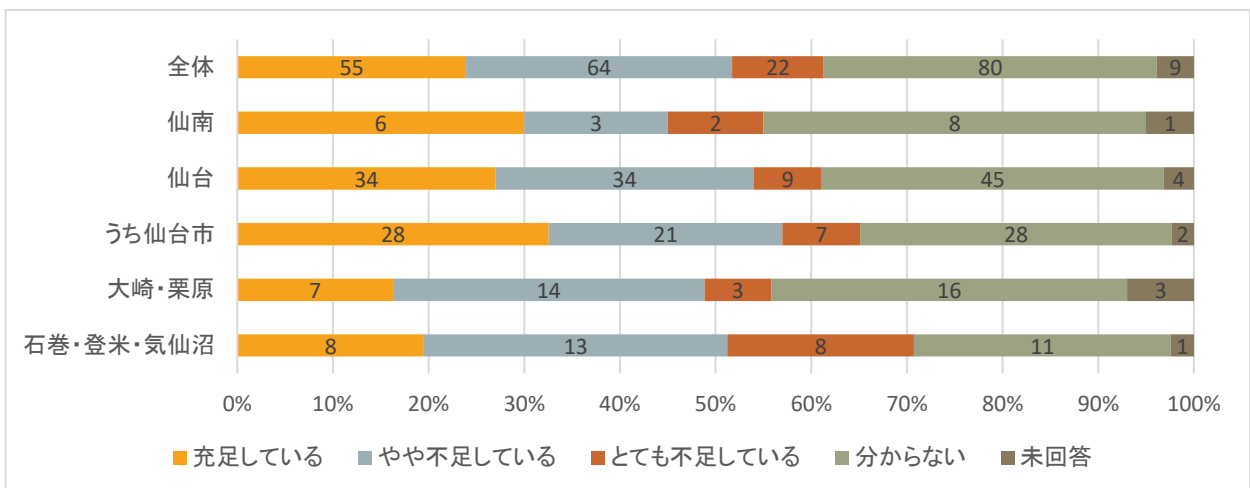


●訪問薬剤指導を実施する薬局

- ・「分からない」が80施設（34.8%）
- ・「分からない」以外では、「やや不足している」が多い（64施設・27.8%）

（単位：施設）

		充足している	やや不足している	とても不足している	わからない	未回答	計
二次医療圏	仙南	6	3	2	8	1	20
	仙台	34	34	9	45	4	126
	うち仙台市	28	21	7	28	2	86
	大崎・栗原	7	14	3	16	3	43
	石巻・登米・気仙沼	8	13	8	11	1	41
実施体制	在支診/病（機能強化型）	13	14	2	5	1	35
	在支診/病（通常型）	29	23	9	23	3	87
	在支診/病以外	13	27	11	52	5	108
合計		55	64	22	80	9	230



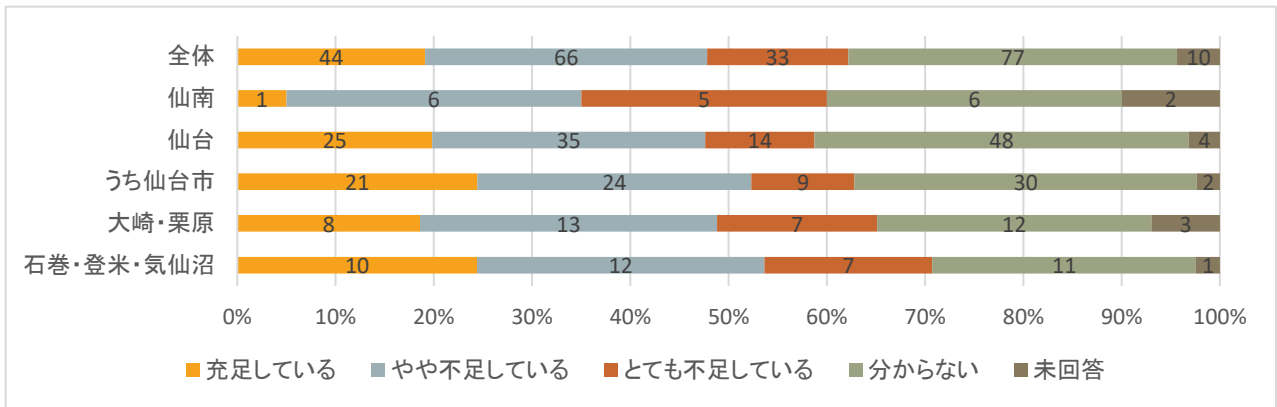
●訪問リハビリ実施施設

- ・「分からない」が77施設（33.5%）
- ・「分からない」以外では、「やや不足している」が多い（66施設・28.7%）

（単位：施設）

		充足している	やや不足している	とても不足している	わからない	未回答	計
二次医療圏	仙南	1	6	5	6	2	20
	仙台	25	35	14	48	4	126
	うち仙台市	21	24	9	30	2	86
	大崎・栗原	8	13	7	12	3	43
	石巻・登米・気仙沼	10	12	7	11	1	41
実施体制	在支診/病（機能強化型）	9	14	4	7	1	35
	在支診/病（通常型）	20	24	14	26	3	87
	在支診/病以外	15	28	15	44	6	108
合計		44	66	33	77	10	230

●二次医療圏別

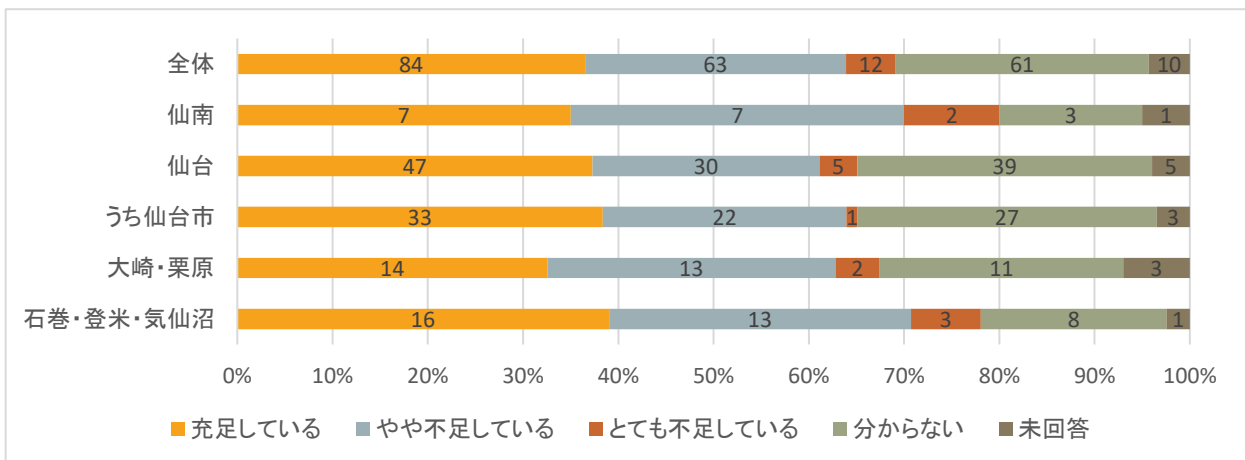


●介護サービス事業所

- ・「充足している」が84施設（36.5%）
- ・「わからない」の回答も多い（61施設・26.5%）

（単位：施設）

		充足している	やや不足している	とても不足している	わからない	未回答	計
二次医療圏	仙南	7	7	2	3	1	20
	仙台	47	30	5	39	5	126
	うち仙台市	33	22	1	27	3	86
	大崎・栗原	14	13	2	11	3	43
	石巻・登米・気仙沼	16	13	3	8	1	41
実施体制	在支診/病（機能強化型）	17	8	3	6	1	35
	在支診/病（通常型）	38	24	3	18	4	87
	在支診/病以外	29	31	6	37	5	108
合計		84	63	12	61	10	230



問Ⅲ-2 今後（5～6年先）の在宅医療の取組予定（n=230）

- ・「今後も現時点と同規模で在宅医療を継続したい」が 107 施設（46.5%）
- ・医療圏別にみると石巻・登米・気仙沼医療圏では、現在よりも患者数を減らしたいと回答した施設の割合が多い

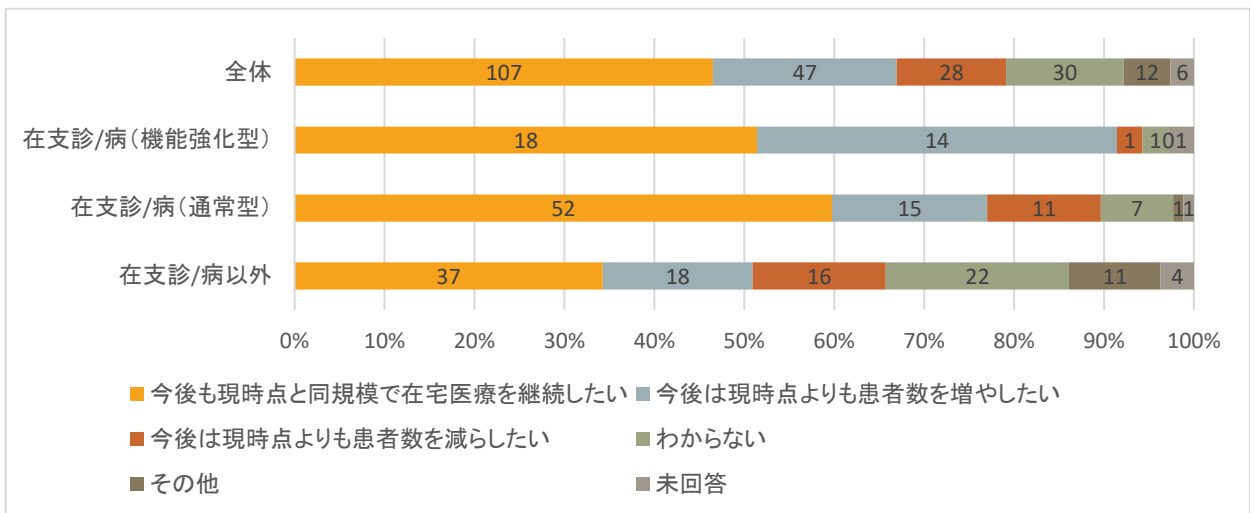
（単位：施設）

		今後も現時点と同規模で在宅医療を継続したい	今後は現時点よりも患者数を増やしたい	今後は現時点よりも患者数を減らしたい	わからない	その他	未回答	計
保健所・支所別	仙南	9	5	2	2	1	10	20
	塩釜	8	2	0	4	2	9	17
	岩沼	7	3	4	2	1	7	17
	黒川	5	0	0	0	1	5	6
	大崎	8	8	4	4	3	9	28
	栗原	9	5	0	1	0	9	15
	石巻	10	3	4	3	0	11	21
	登米	6	1	3	1	1	6	12
	気仙沼	6	0	0	0	1	7	8
	仙台市	39	20	11	13	2	40	86
二次医療圏	仙南	9	5	2	2	1	1	20
	仙台	59	25	15	19	6	2	126
	うち仙台市	39	20	11	13	2	1	86
	大崎・栗原	17	13	4	5	3	1	43
	石巻・登米・気仙沼	22	4	7	4	2	2	41
実施体制	在支診/病（機能強化型）	18	14	1	1	0	1	35
	在支診/病（通常型）	52	15	11	7	1	1	87
	在支診/病以外	37	18	16	22	11	4	108
合計		107	47	28	30	12	6	230

※「その他」の内容

- ・地域の需要に合わせて在宅医療を提供したい
- ・医師の体制強化ができれば増やしたい
- ・対象者がいれば実施
- ・自分の年齢を考えて、今後無理になると思う
- ・今後体制を整えば再開したい
- ・在宅を担う医師が入職すれば、現状を維持したいが、今のところその見込みがない

●二次医療圏別



問Ⅲ-3 今後（5～6年先）在宅医療を推進する上で必要だと思われる取組(n=230)

上位3つまで

設問

- 1 在宅医療に取り組む医療機関間での主治医・副主治医制の導入
- 2 在宅医療に特化した診療所の設置
- 3 在宅医療に取り組む医療機関間での患者の容態に応じた役割分担
- 4 病院の医師による訪問診療等の実施
- 5 公立・公的病院の在宅医療への関与強化
- 6 緊急時の入院先医療機関の確保
- 7 訪問看護ステーションと連携した24時間365日対応
- 8 訪問看護ステーションの増加・機能強化
- 9 訪問歯科診療を実施する歯科診療所の増加
- 10 訪問薬剤指導を実施する薬局の増加
- 11 訪問リハビリテーションを実施する施設の増加
- 12 介護サービス事業所の活用
- 13 在宅医療の医療技術上のノウハウを学べる研修
- 14 在宅医療の運営や経営上のノウハウを学べる研修
- 15 住民に向けた在宅利用の普及啓発
- 16 財政面（設備整備への助成等）に対する支援
- 17 その他

(単位：施設)

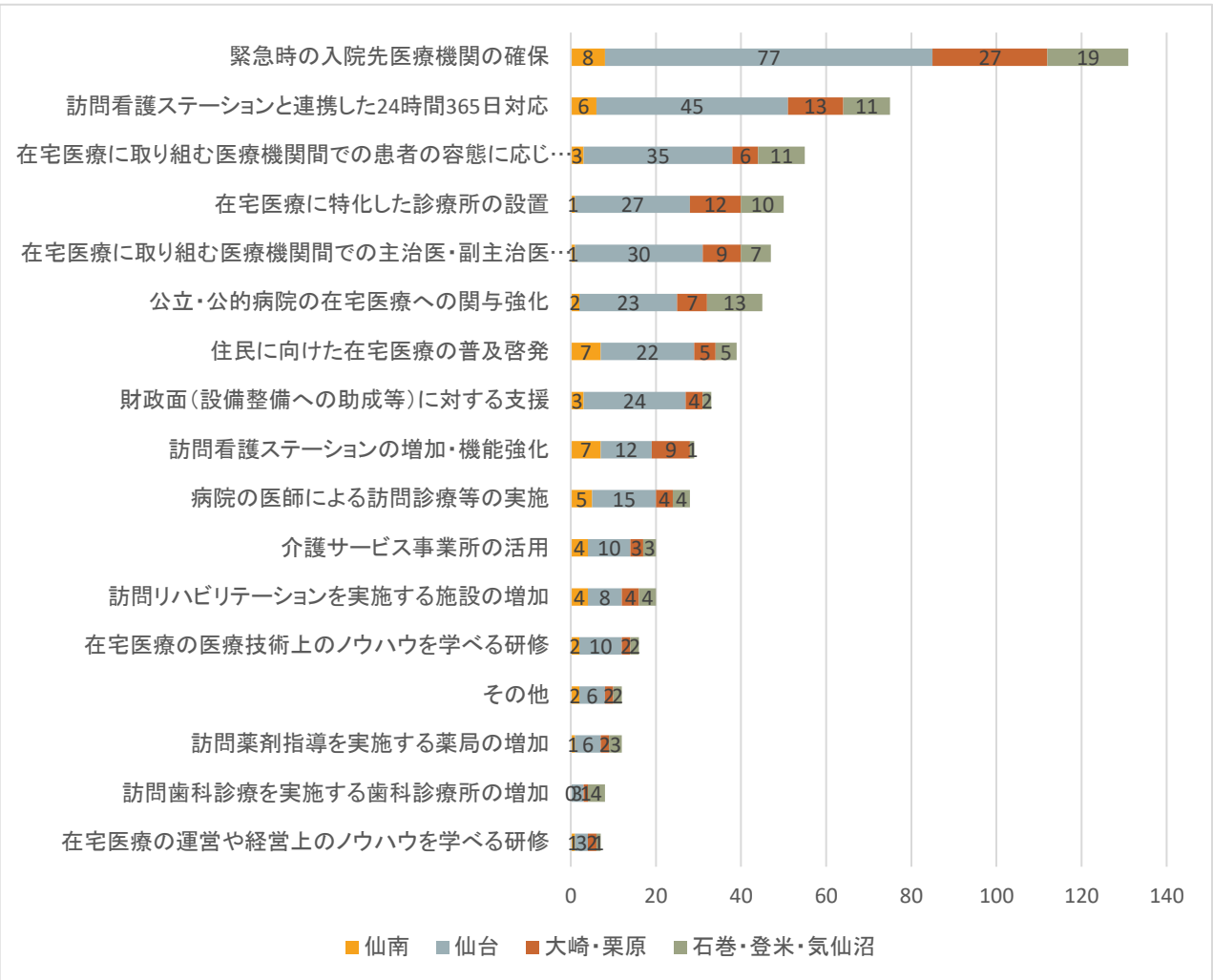
	主治医・ 副主治医制	在宅に特化した 診療所の設置	患者の容態に 応じた役割分担	病院医師の 訪問診療	公的・公立 病院の関与	緊急時の 入院先の確保	24時間対応 (訪問ST連携)	訪問STの 増加・強化	訪問歯科 診療所の増	
保健所・支所別	仙南	1	1	3	5	2	8	6	7	0
	塩釜	2	3	4	4	3	9	7	1	0
	岩沼	2	2	4	2	3	12	6	3	0
	黒川	2	2	1	1	2	2	3	1	0
	大崎	7	7	4	3	4	16	8	5	1
	栗原	2	5	2	1	3	11	5	4	0
	石巻	4	6	6	3	9	12	5	1	0
	登米	1	4	4	1	1	2	4	0	2
	気仙沼	2	0	1	0	3	5	2	0	2
	仙台市	24	20	26	8	15	54	29	7	3
二次医療圏	仙南	1	1	3	5	2	8	6	7	0
	仙台	30	27	35	15	23	77	45	12	3
	うち仙台市	24	20	26	8	15	54	29	7	3
	大崎・栗原	9	12	6	4	7	27	13	9	1
	石巻・登米・気仙沼	7	10	11	4	13	19	11	1	4
実施体制	在支診/病(機能強化型)	7	3	6	2	4	18	10	6	0
	在支診/病(通常型)	20	11	18	10	18	61	31	8	3
	在支診/病以外	17	26	25	13	19	40	29	12	4
	合計	47	50	55	28	45	131	75	29	8

	訪問薬剤 指導薬局の増	訪問リハ 施設の増	介護サービス の活用	在宅医療 技術研修	運営・経営 研修	住民向けの 普及・啓発	財政面の支援	その他	未回答の 医療機関数	
保健所・支所別	仙南	1	4	4	2	1	7	3	2	3
	塩釜	0	1	1	3	1	2	3	1	2
	岩沼	0	1	3	2	0	2	3	1	1
	黒川	0	0	1	0	0	2	1	1	0
	大崎	1	2	2	2	1	4	3	2	2
	栗原	1	2	1	0	1	1	1	0	1
	石巻	1	1	1	1	1	3	0	0	1
	登米	1	2	1	1	0	1	1	2	2
	気仙沼	1	1	1	0	0	1	1	0	1
	仙台市	6	6	5	5	2	16	17	3	6
二次医療圏	仙南	1	4	4	2	1	7	3	2	3
	仙台	6	8	10	10	3	22	24	6	9
	うち仙台市	6	6	5	5	2	16	17	3	6
	大崎・栗原	2	4	3	2	2	5	4	2	3
	石巻・登米・気仙沼	3	4	3	2	1	5	2	2	4
実施体制	在支診/病(機能強化型)	3	3	5	3	2	13	8	3	4
	在支診/病(通常型)	5	7	8	4	2	17	15	4	4
	在支診/病以外	4	8	3	5	3	7	7	3	11
	合計	12	20	20	16	7	39	33	12	19

※「その他」の内容

- ・主治医のみ24時間365日対応の負担軽減、診療報酬上のさらなる評価
- ・複数医師体制の整備
- ・在宅医療に関して多職種への教育
- ・病院から在宅医療につなげるための取組
- ・介護人材の確保
- ・24時間体制は医師に負担がかかるため、それを軽減する取組
- ・診療報酬の改定、特に施設への訪問診療費
- ・診療報酬の安定

- ・終末期入院施設
- ・スタッフや家族からの情報のみではなく，全身を診察している医師からの情報がほしい
- ・県の積極的介入
- ・ICTの活用



●医療圏別の上位3つ

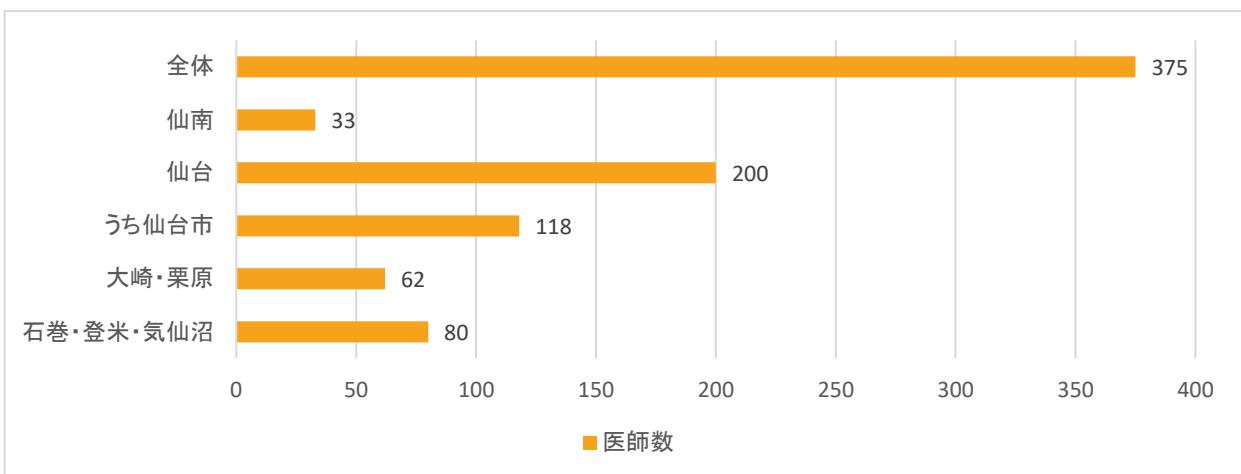
	1位	2位	3位
仙南	・ 緊急時の入院先医療機関の確保	・住民に向けた在宅医療の普及啓発	・ 訪問看護ステーションと連携した24時間365日対応
仙台	・ 緊急時の入院先医療機関の確保	・ 訪問看護ステーションと連携した24時間365日対応	・在宅医療に取り組む医療機関間での患者様態に応じた役割分担
大崎・栗原	・ 緊急時の入院先医療機関の確保	・ 訪問看護ステーションと連携した24時間365日対応	・在宅医療に特化した診療所の設置
石巻・登米・気仙沼	・ 緊急時の入院先医療機関の確保	・ 訪問看護ステーションと連携した24時間365日対応 ・在宅医療に取り組む医療機関間での患者様態に応じた役割分担	・在宅医療に特化した診療所の設置

問Ⅲ-4 在宅医療を担当する医師数 (n=205)

- ・ 1 医療機関あたりの平均医師数は約 2 人
- ・ 医療圏別にみると石巻・登米・気仙沼医療圏は 1 医療機関あたりの平均医師数が多い
- ・ 実施体制別にみると在支診/病（機能強化型）は 1 医療機関あたりの平均医師数が多い

		回答のあった 医療機関数 (単位：施設)	医師数 (単位：人)	1 医療機関あたり の平均医師数 (単位：人)
保健所・支所別	仙南	18	33	1.8
	塩釜	12	40	3.3
	岩沼	16	33	2.1
	黒川	6	9	1.5
	大崎	21	43	2
	栗原	14	19	1.4
	石巻	19	36	1.9
	登米	11	30	2.7
	気仙沼	8	14	1.8
	仙台市	76	118	1.6
二次医療圏	仙南	18	33	1.8
	仙台	110	200	1.8
	うち仙台市	76	118	1.6
	大崎・栗原	35	62	1.8
	石巻・登米・気仙沼	38	80	2.1
実施体制	在支診/病（機能強化型）	33	118	3.6
	在支診/病（通常型）	86	120	1.4
	在支診/病以外	82	137	1.7
合計		201	375	1.9

●二次医療圏別医師数

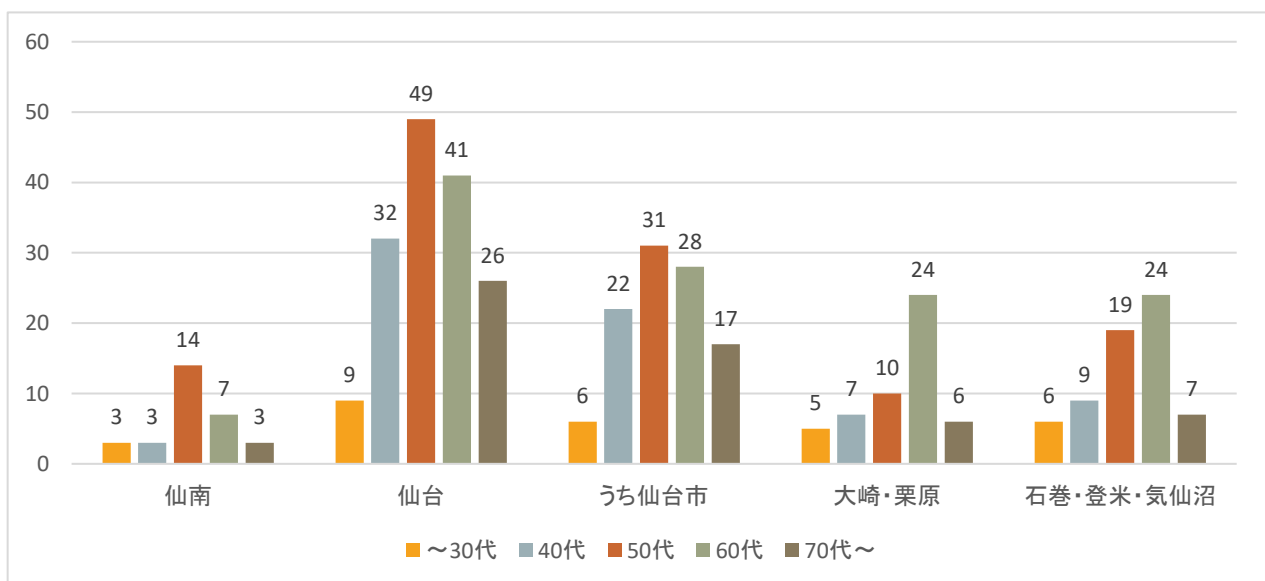


問Ⅲ-5 在宅医療を担当する医師の年齢（年代別）（n=205）

- ・ 60 代以上の医師は 138 人（45.4%）
- ・ 医療圏別にみると大崎・栗原医療圏は 60 代以上の医師の割合が多い
- ・ 実施体制別にみると在支診/病（機能強化型）は 60 代以上の医師の割合がとても低い

	回答のあった医療機関数 (単位：施設)	在宅医療を担当する年代別医師数 (単位：人)					計	医師の平均年代 (単位：歳)	60代以上の 医師の占める割合	
		～30代	40代	50代	60代	70代～				
保健所・支所別	仙南	18	3	3	14	7	3	30	51.3	33%
	塩釜	12	1	4	8	7	1	21	51.4	38%
	岩沼	16	1	3	8	5	6	23	55.2	48%
	黒川	6	1	3	2	1	2	9	50	33%
	大崎	21	4	2	9	15	3	33	53.3	55%
	栗原	14	1	5	1	9	3	19	54.2	63%
	石巻	20	2	7	7	14	5	35	53.7	54%
	登米	11	2	1	7	7	1	18	52.2	44%
	気仙沼	8	2	1	5	3	1	12	50	33%
	仙台市	75	6	22	31	28	17	104	52.7	43%
二次医療圏	仙南	18	3	3	14	7	3	30	51.3	33%
	仙台	109	9	32	49	41	26	157	52.7	43%
	うち仙台市	75	6	22	31	28	17	104	52.7	43%
	大崎・栗原	35	5	7	10	24	6	52	53.7	58%
	石巻・登米・気仙沼	39	6	9	19	24	7	65	52.6	48%
実施体制	在支診/病（機能強化型）	34	7	21	32	12	6	78	48.6	23%
	在支診/病（通常型）	85	10	19	26	40	17	112	53.1	51%
	在支診/病以外	82	6	11	34	44	19	114	55.2	55%
合計		201	23	51	92	96	42	304	52.7	45%

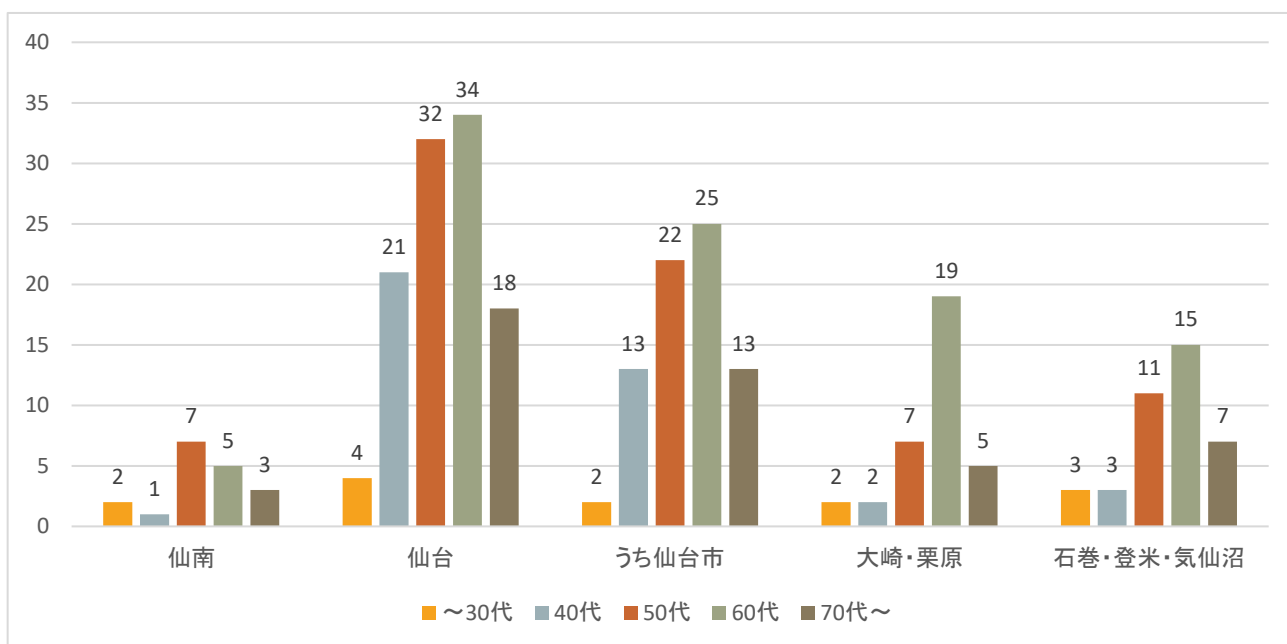
●二次医療圏別の医師数



●在宅を担当する医師が1人のみの医療機関

・医師が複数いる場合に比べ、1医療機関あたりの60代以上の医師が占める割合が高い

	回答のあった医療機関数 (単位：施設)	在宅医療を担当する年代別医師数 (単位：人)					計	医師の平均年代 (単位：歳)	60代以上の 医師の占める割合	
		～30代	40代	50代	60代	70代～				
保健所・支所別	仙南	18	2	1	7	5	3	18	53.3	44%
	塩釜	12	0	3	4	5	0	12	51.7	42%
	岩沼	16	1	3	6	3	3	16	52.5	38%
	黒川	6	1	2	0	1	2	6	51.7	50%
	大崎	21	1	0	7	10	3	21	56.7	62%
	栗原	14	1	2	0	9	2	14	56.4	79%
	石巻	20	1	3	4	7	5	20	56	60%
	登米	11	2	0	3	5	1	11	52.7	55%
	気仙沼	8	0	0	4	3	1	8	56.3	50%
	仙台市	75	2	13	22	25	13	75	54.5	51%
二次医療圏	仙南	18	2	1	7	5	3	18	53.3	44%
	仙台	109	4	21	32	34	18	109	53.8	48%
	うち仙台市	75	2	13	22	25	13	75	54.5	51%
	大崎・栗原	35	2	2	7	19	5	35	56.6	69%
	石巻・登米・気仙沼	39	3	3	11	15	7	39	55.1	56%
実施体制	在支診/病（機能強化型）	34	3	8	11	7	5	34	50.9	35%
	在支診/病（通常型）	85	4	11	24	32	14	85	54.8	54%
	在支診/病以外	82	4	8	22	34	14	82	55.6	59%
合計		201	11	27	57	73	33	201	54.5	53%



問Ⅲ-6 在宅医療の推進に関して、県の役割として求めること 自由記載 (n=230)

普及啓発

- ・住民に向けた在宅医療の普及啓発（広報への掲載等）

人材育成・環境改善

- ・難病患者へ対応できる施設・医師の育成
- ・看護師の安定的確保
- ・開業医がもう少し在宅診療に前向きに取り組めるような環境づくり
- ・訪問診療に取り組んでいる病院が少ないように思う。訪問医が各地域に存在し、どの地域の患者様でも必要時
- ・医療従事者・介護従事者などを対象とした在宅での医療ケアスキルの向上を目的とした在宅医療トレーニングの研修（座学と実習）

に在宅医療が受けられるような環境があれば良いと思う。

- ・県奨学金給付者の積極的活用
- ・訪問看護S Tの機能強化，人材育成（多職種）

患者の受入

- ・低所得者＋医療的ケア必要者の受け入れ先を増やす，受け入れ施設に対する支援
- ・在宅患者を介護する家族のフォロー。レスパイト的に看てもらえる施設の充足
- ・入院受入医療機関を多くしてほしい
- ・自院で受け入れ困難な患者様の検査，入院等の出来る病院の充実

連携体制

- ・複数担当医制の構築推進や公立病院に働きかけ，在宅医療への参加を促進
- ・個人病院では，かかりつけ医で在宅看取り等 24 時間を 1 人の医師で担当するのは困難。公立病院でも，夜間の看取りが難しい。県として，退職して在宅にいる医師，看護師に声がけ，訪看や医師も部分的に訪問を専門にする医療職のリストを作成してほしい
- ・看取りの小グループ輪番制
- ・24 時間体制を，つながりを作って長期的に地域全体で継続できるようなシステム作り
- ・夜間待機医師等のあっせん紹介
- ・各地域で情報共有一元化が推進できれば良い（ICTの利用等が望まれる）
- ・医療機関間の連携
- ・一定の地域内での在宅医療チーム作り
- ・在宅医療推進に際し，マンパワーの少ない開業医の負担軽減策

病状に関すること

- ・認知症対策や看取り等，在宅医療の現状での課題についての対応策の検討

- ・県内の要医ケア児者の全人数調査，地域主治医（内科医）を確保・育成

地域包括ケア・医介連携

- ・町づくり，地域づくりの視点や地域緩和ケアとは何か，ケアの充実とは何かについて深めていく役割を志ある人と出会う機会の創出
- ・地域の介護力を強化させるような取組
- ・特養や老健のみでなく，様々な介護施設でのショートステイ，デイサービスなどの看取り

その他

- ・在宅医療に携わる医師，看護師，ケアマネージャー，介護士などの財政面，地位の向上を援助
- ・在宅医療を行えない理由等の聞き取りとその対策
- ・休日薬局を多く作ってほしい
- ・電源を必要とする要医ケア児者の災害対策（電源確保，避難先の医療機関を個別に決めておく）
- ・訪問看護師を増加させることができれば，医師の負担軽減ができ，医師一人当たりの患者数を増加させることができる
- ・年齢的，体力的に対処能力が減少しているのではないかと危惧している。人員的に余裕のある医療機関などがバックアップするシステムの構築が急務である
- ・訪問看護ステーションの中でも実力差をなくすべく，在宅看取りに関わる病状変化に対応できる事業所の育成
- ・在宅輪番病院の増加（少なくとも各行政区に1箇所以上）
- ・近隣の往診医数名がチームとなり，不在時の医師の対応をする
- ・施設スタッフの看取り対応の指導
- ・在宅医療支援事業者の条件が厳しく，届け出が出来なかった医療機関への対策（役割分担）
- ・緊急時の代診の調整
- ・在宅医療を担う若手医師の育成と地域の実情に合わせた医師の配置をコーディネートする役割
- ・現場で最も長い時間お世話する家族，次いでホームヘルパー（あるいは施設ヘルパー）のサポートの充実
- ・地域包括ケア病棟を増やしてほしい
- ・連携を行える医療機関同士の斡旋やハブとしての役割